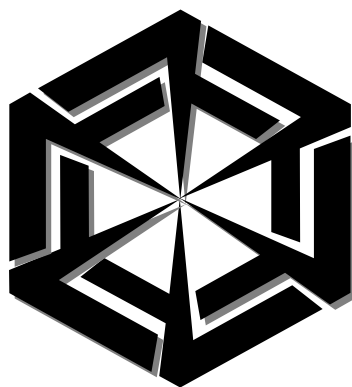


須坂市の教育



須坂市教育委員会

目 次

I	須坂市の概要	3
II	教育委員会	5
	1 教育委員	5
	2 事務局・教育機関の機構	5
	3 事務局・教育機関の事務分掌	6
	4 事務局・教育機関の市費職員数	8
III	教育財政	9
	1 平成28年度一般会計当初予算	9
	2 平成28年度教育委員会に係る歳出項目別当初予算	10
	3 一般会計および教育費決算額の推移	12
IV	学校教育課	13
	1 基本方針	13
	2 重点施策	13
	3 小・中・須坂支援学校	13
	4 高等学校	28
	5 いじめ等対策事業	28
	6 小・中学校巡回教育相談	28
	7 須坂市フレンドリールーム	29
	8 教育相談室	29
	9 外国人講師（外国語指導助手）	30
	10 交流事業	30
	11 育英事業	31
	12 児童センター・地域児童クラブ・委託児童クラブ	31
	13 学校給食センター	32
V	子ども課	36
	1 子育て支援事業	36
	2 保育園・幼稚園・認定こども園	44
	3 児童手当等の支給	47
	4 児童・青少年健全育成事業	48
VI	生涯学習	51
	1 沿 革	51
	2 生涯学習の推進	52
	3 文化財保護	54
	4 図書館	59
	5 博物館	63
	6 学校体育施設開放使用状況	66
VII	人権同和 教 育 課	67
	1 人権教育推進計画	67
	2 沿 革	68
	3 具体的事業	70
	4 都市宣言	72
	5 須坂市人権行政機構図	73
VIII	歴代教育委員名簿	74
	1 歴代教育委員	74
	2 歴代委員長・職務代理・教育長	77

I 須坂市の概要

位置・自然等

須坂市は長野県の北東部に位置し、東は上信火山帯を挟んで群馬県嬭恋村と、西と南は日本一の長さを誇る千曲川を隔てて県庁所在地の長野市と、北は小布施町・高山村と接している。

市域は、上信越高原国立公園に属する険しい山並みの東部山岳地帯と、そこから流れ出るいくつもの河川によって形成された扇状地、及び千曲川によって形成された沖積地で構成されている。

東部山岳地帯は、菅平高原とともにウィンタースポーツやテニスを中心としたリゾート地である峰の高原、日本の滝100選に選ばれている国の指定名勝「米子の瀑布（滝）」、レンゲツツジが咲き誇る破風高原等大自然の宝庫である。扇状地帯は、リンゴやブドウを中心とした豊かな果樹園が広がり、また、その中心には住環境の優れた市街地が形成されている。沖積地帯は、上信国境から流れ出る豊かな清流による稲作地帯が広がっていたが、現在は果樹園への転換が図られている。

気候は、雨が少ない典型的な内陸性気候で、年平均気温は11度だが、夏の最高平均気温は31度、冬はマイナス10度以下になることもある。このように気温の日較差が大きいことと、雨が少ないこと、さらには砂礫土壌という水はけの良さから、果樹生産に最適な地域として知られている。

沿革

須坂市に人が住みはじめたのは、旧石器時代からであるが市内ではこの時期に該当する遺跡は1箇所しか見つかっていない。今から約12,000年前、日本で最初に土器が作り始められた縄文時代草創期と呼ばれる時期に至ると、仁礼の須坂市指定史跡「石小屋洞穴」から日本でも最古級の土器が出土している。それから、縄文時代には山地・山麓を中心にあちこちに遺跡を残したが、今から約2,000年前、弥生時代に入ると、稲作の始まりとともに須坂園芸高校校庭遺跡など豊富な湧水と千曲川の低湿地をひかえた扇端部にあたる場所に生活の跡を残している。

古墳時代は、石を積み上げて造った積石塚とよばれている古墳が河東地域に広く造られ、その数が多いことから積石塚の中心地域と考えられている。特に積石塚古墳としては東日本で最大・最古級とされる長野県史跡「八丁鎧塚」からは、極めて類例の少ない大陸との結びつきをうかがわせる帯金具が出土している。また本郷大塚古墳からは県内でも屈指の多量の馬具や大刀などが出土している。

鎌倉・室町時代は、信濃源氏として知られる井上氏（城跡・館跡は長野県史跡）をはじめ、須田氏・高梨氏などの武士が勢力を競い合っていた。現在の中心市街地は、この頃軍事目的で整備された主要な街道の交差点に発達した街道町がその原点と考えられている。

江戸時代は、須坂藩主堀氏が現在の市域の多くを含む13ヶ村10,053石を治めていた。また、市内福島を起点として上洲大笹に至る大笹街道は、江戸に至る日数が北国街道より1日少ないため、かかる費用も少なく済むことから、主に穀物の流通ルートとして栄え、活力のある経済と文化の基礎が築かれていった。

明治時代に入ると、傾斜地という市街地の特性を利用した水車による器械製糸業が発達し、岡谷とともに世界に知られる生糸の町として栄え、大正時代にその全盛期を迎えた。その後、製糸業の衰退とともに電子工業へと転換が図られ、現在に至っている。

昭和29年4月1日に市制を施行し、翌30年に2村、同46年に1村を編入し、現在の市域となっている。

平成5年3月、上信越自動車道（「須坂長野東IC」）が開通し、新世紀における工業、農業、観光の町として一層の発展を目指している。

人 口 等

	世 帯 数 (世帯)	人 口 (人)			対 前 回 比 (%)	一世帯当たり 人 員 (人)
		総 数	男	女		
昭和45年	11, 144	45, 782	21, 985	23, 797	103. 01	4. 10
50年	12, 836	49, 513	23, 941	25, 572	108. 14	3. 85
55年	14, 106	52, 543	25, 484	27, 059	106. 11	3. 72
60年	14, 648	53, 611	26, 083	27, 528	102. 03	3. 65
平成 2 年	15, 346	53, 662	26, 141	27, 521	100. 10	3. 50
7 年	16, 333	53, 842	26, 241	27, 601	100. 33	3. 30
12年	17, 323	54, 207	26, 420	27, 787	100. 68	3. 13
17年	17, 860	53, 668	26, 292	27, 376	99. 00	3. 00
22年	18, 106	52, 168	25, 466	26, 702	97. 20	2. 88
27年	18, 453	50, 743	24, 790	25, 953	97. 27	2. 75

資料：国勢調査

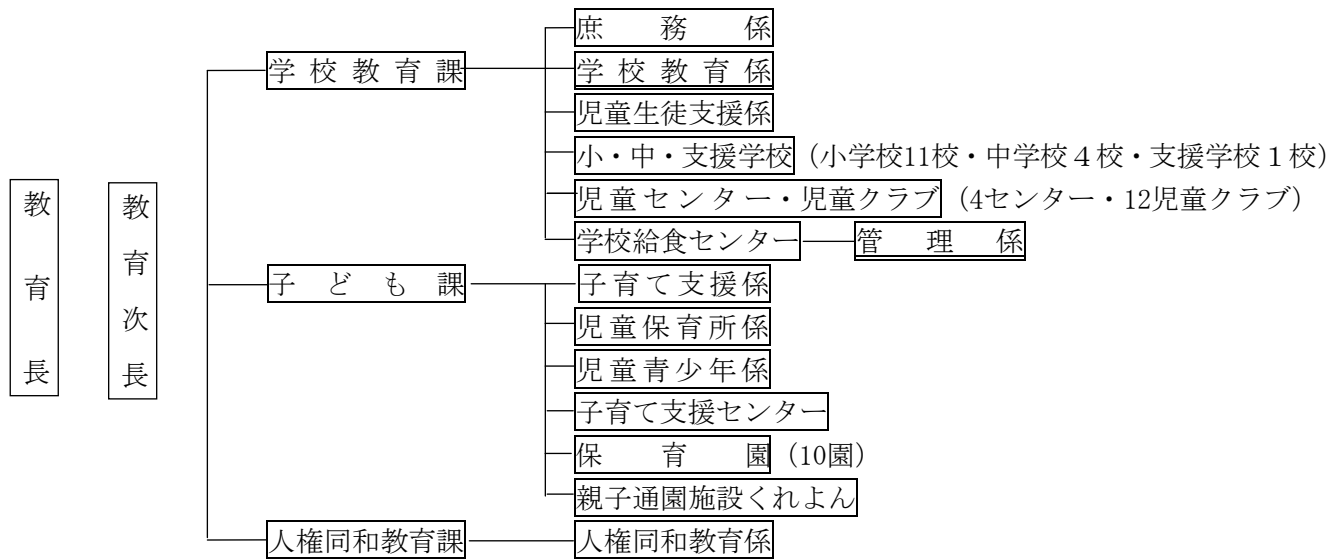
Ⅱ 教育委員会

1 教育委員

(平成28年10月1日現在)

役 職 名	氏 名	就任年月日	備 考
委 員 長	内藤 靖	25. 6. 21	委員長 25. 6. 21～
委員長職務代理	神戸 要子	24. 10. 1	委員長職務代理 27. 10. 1～
委 員	岡部 昭弘	26. 10. 1	
委 員	丸山 浩恵	27. 10. 1	
教 育 長	小林 雅彦	26. 4. 1	教育長 26. 4. 1～

2 事務局・教育機関の機構



3 事務局・教育機関の事務分掌

学校教育課	庶務係	(1) 公印に関すること。 (2) 委員会の会議に関すること。 (3) 委員会の規則等の制定、改廃に関すること。 (4) 委員会関係職員の人事給与に関すること。 (5) 学校その他教育機関の設置及び廃止に関すること。 (6) 学校その他教育財産の取得及び処分の計画に関すること。 (7) 請願及び陳情に関すること。 (8) 栄典に関すること。 (9) 県費教職員の人事関係内申に関すること。 (10) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師に関すること。 (11) 教職員住宅に関すること。 (12) 奨学金貸与事務に関すること。 (13) 総合教育会議に関すること。 (14) 文書の收受、発送に関すること。 (15) 教育に係る調査及び基幹統計に関すること。 (16) 委員会事務局の庶務に関すること。 (17) 課の庶務に関すること。 (18) その他他の課に属さない事項並びに各課の連絡調整に関すること。
	学校教育係	(1) 学校の学級編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。 (2) 通学区域に関すること。 (3) 学校経営の指導に関すること。 (4) 校長その他教職員の指導と助言研修に関すること。 (5) 教科書及び教材備品に関すること。 (6) 学齢簿の編成保管に関すること。 (7) 学齢児童生徒の就学退学等に関すること。 (8) 学校の整備及び保全に関すること。 (9) 学校施設の財産の管理に関すること。 (10) 学校施設の貸与に関すること。 (11) 学校の行事に関すること。 (12) 学校保健、独立行政法人日本スポーツ振興センター及び学校給食に関すること。 (13) 学校給食センターとの連絡調整に関すること。 (14) 就学前児童の入学に関すること。 (15) その他学校教育に関すること。

	児童生徒支援係	(1) 就学援助に関すること。 (2) 教育支援委員会に関すること。 (3) 就学相談に関すること。 (4) 中間教室に関すること。 (5) 児童センターとの連絡調整に関すること。 (6) 児童クラブに関すること。 (7) 教員補助員に関すること。 (8) 不登校対策に関すること。 (9) スクールカウンセラーに関すること。
子ども課	子育て支援係	(1) 子育て支援及び支援施策の総合調整に関すること。 (2) 須坂市子ども・子育て会議に関すること。 (3) 次世代育成支援に関すること。 (4) 児童福祉及び児童の相談に関すること。 (5) すこやか相談事業に関すること。 (6) 児童虐待防止に関すること。 (7) 子育て支援センターとの連絡調整に関すること。 (8) 親子通園施設くれよんとの連携調整に関すること。 (9) 課の庶務に関すること。 (10) その他子育て支援に関すること。
	児童保育所係	(1) 保育所の施設整備に関すること。 (2) 保育所への入所退所及び保育料の徴収に関すること。 (3) 保育所の給食献立及び調理指導に関すること。 (4) 保育所との連絡調整に関すること。 (5) 私立保育所及び認可外保育所の育成指導に関すること。 (6) 私立幼稚園に関すること。 (7) 児童遊園に関すること。 (8) 児童手当、児童扶養手当及び特別児童扶養手当に関すること。 (9) 社会福祉法人（保育所に関するものに限る。）に関すること
	児童青少年係	(1) 児童青少年総合対策の企画及び総合調整に関すること。 (2) 青少年問題協議会に関すること。 (3) 児童青少年育成関係機関及び団体との連絡調整に関すること。 (4) 児童青少年育成センターに関すること。 (5) 児童青少年育成市民会議に関すること。 (6) 農業小学校に関すること。 (7) その他児童青少年育成に関すること。
人権同和教育課	人権同和教育係	(1) 人権・同和教育の総合的な企画、推進に関すること。 (2) 同和教育関係機関、団体等との連絡調整に関すること。 (3) 教育関係職員等の人権・同和教育問題研修に関すること。 (4) 課の庶務に関すること。 (5) その他人権・同和教育に関すること。

学校給食センター	(1) 学校給食センターの維持管理に関すること。 (2) 学校給食センターの運営に関すること。 (3) 学校給食費徴収に関すること (4) (新) 学校給食センター建設に関すること。 (4) その他学校給食センターに関すること。
----------	--

4 事務局・教育機関の市費職員数

(平成28年4月1日現在)

区 分	職 員 数 (人)															合 計
	教 育 長	教 育 次 長	課 所 館 園 長 長 長 長	事 務 職 員	管 理 技 術 員	調 理 技 術 員	保 健 師	保 育 士	児 童 厚 生 員	嘱 託						
										所 長	相 談 指 導 員	事 務 員	技 術 員	保 育 士	児 生 厚 生 員	
教 育 長	1															1
教 育 次 長		1														1
学 校 教 育 課			1	8							8	4				21
指 導 主 事												2				2
庶 務 係				2								1				3
学 校 教 育 係				4								1				5
児 童 生 徒 支 援 係				2							8	1				11
学 校 給 食 セ ン タ ー			1	1(2)												2
学 校 1 6 校					3								12			15
児 童 セ ン タ ー			1						4	3				10		9
子 ど も 課			1	7(2)			1				4(1)	4(1)	1			18
子 育 て 支 援 係				2(1)			1				3(1)	(1)				6
児 童 保 育 所 係				3(1)								3	1			7
児 童 青 少 年 係				2							1	1				4
親子通園施設くれよん			(1)											1		1
保 育 園 1 0 園			10			9		49					1	60		129
子 育 て 支 援 セ ン タ ー			(1)					1						1(1)		2
人 権 同 和 教 育 課			(1)	1							1(1)					2
人 権 同 和 教 育 係				1							1(1)					2
計	1	1	15	19	4	10	1	51	3	2	14	9	12	54		196

() 内は兼務職員の数(外書き)

Ⅲ 教育財政

1 平成28年度一般会計当初予算

(単位：千円)

歳 入			歳 出		
款	予 算 額	比率 (%)	款	予 算 額	比率 (%)
1. 市 税	5,874,092	28.58	1. 議 会 費	222,270	1.08
2. 地 方 譲 与 税	182,000	0.88	2. 総 務 費	1,960,103	9.54
3. 利 子 割 交 付 金	10,000	0.05	3. 民 生 費	7,054,381	34.33
4. 配 当 割 交 付 金	32,000	0.16	4. 衛 生 費	1,331,122	6.48
5. 株式等譲渡所得割 交 付 金	20,000	0.10	5. 労 働 費	170,647	0.83
6. 地方消費税交付金	935,000	4.55	6. 農 林 水 産 業 費	483,142	2.35
7. ゴルフ場利用 税 交 付 金	4,000	0.02	7. 商 工 費	1,362,947	6.63
8. 自動車取得税 交 付 金	12,000	0.06	8. 土 木 費	2,557,933	12.45
9. 地方特例交付金	23,000	0.11	9. 消 防 費	1,008,625	4.91
10. 地 方 交 付 税	4,550,000	22.14	10. 教 育 費	2,576,333	12.53
11. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	8,000	0.04	11. 公 債 費	1,802,497	8.77
12. 分 担 金 及 び 負 担 金	490,030	2.38	12. 予 備 費	20,000	0.10
13. 使 用 料 及 び 手 数 料	384,039	1.87			
14. 国 庫 支 出 金	2,313,273	11.26			
15. 県 支 出 金	1,248,565	6.08			
16. 財 産 収 入	35,246	0.17			
17. 寄 附 金	100,220	0.49			
18. 繰 入 金	846,285	4.12			
19. 繰 越 金	300,000	1.46			
20. 諸 収 入	1,927,750	9.38			
21. 市 債	1,254,500	6.10			
合 計	20,550,000	100.00	合 計	20,550,000	100.00

2 平成28年度教育委員会に係る歳出項目別当初予算

(単位：千円)

項	目	予 算 額	構 成 比 (%)	財 源	
				特定財源	一般財源
教 育 総 務 費	1. 教 育 委 員 会 費	4,380		0	4,380
	2. 事 務 局 費	100,270		1,358	98,912
	3. 教 育 奨 励 費	192,830		21,608	171,222
	4. 教 員 住 宅 費	700		700	0
	計	298,180	6.59	23,666	274,514
小 学 校 費	1. 学 校 管 理 費	388,324		181,738	206,586
	2. 教 育 振 興 費	61,621		3,321	58,300
	計	449,945	9.94	185,059	264,886
中 学 校 費	1. 学 校 管 理 費	116,901		734	116,167
	2. 教 育 振 興 費	45,743		579	45,164
	計	162,644	3.59	1,313	161,331
特別支援学校費	1. 特 別 支 援 学 校 費	9,141		1,357	7,784
	計	9,141	0.20	1,357	7,784
幼 稚 園 費	1. 幼 稚 園 費	77,494		27,546	49,948
	計	77,494	1.71	27,546	49,948
保 健 体 育 費	1. 保 健 体 育 総 務 費	63,733		12	63,721
	4. 学 校 給 食 費	531,899		328,618	203,281
	計	595,632	13.16	328,630	267,002
人権同和教育費	1. 人 権 同 和 教 育 総 務 費	11,585			11,585
	2. 学 校 人 権 同 和 教 育 費	2,342			2,342
	3. 社 会 人 権 同 和 教 育 費	3,140		125	3,015
	4. 公 民 館 人 権 同 和 教 育 費	1,645			1,645
	計	18,712	0.41	125	18,587
児 童 福 祉 費	1. 児 童 福 祉 総 務 費	319,890		121,491	198,399

	2. 児 童 措 置 費	1,470,420		1,077,334	393,086
	3. 保 育 所 費	917,216		259,584	657,632
	4. 子 育 て 支 援 セ ン タ ー 費	13,064		7,548	5,516
	5. 児 童 ク ラ ブ 費	127,340		106,476	20,864
	6. 児 童 セ ン タ ー 費	61,025		16,727	44,298
	8. 親 子 通 園 訓 練 施 設 費	5,493			5,493
	計	2,914,448	64.39	1,589,160	1,325,288
合 計		4,526,196	100.00	2,156,856	2,369,340

3 一般会計および教育費決算額の推移

年 度	決 算 額		
	一 般 会 計 (千円)	教 育 費 (千円)	対一般会計比 (%)
昭和63	12,076,310	2,385,195	19.7
平成元	13,921,266	2,865,463	20.5
2	16,081,856	4,030,938	25.1
3	17,554,432	4,873,042	27.8
4	17,785,864	3,142,921	17.7
5	18,702,255	3,034,661	16.2
6	18,233,188	2,971,518	16.3
7	19,707,744	2,816,113	14.3
8	20,349,345	2,215,632	10.9
9	21,350,793	2,086,194	9.8
10	20,550,967	2,029,825	9.9
11	22,542,118	2,138,582	9.5
12	20,419,360	2,387,240	11.7
13	21,428,183	2,254,432	10.5
14	19,827,920	2,865,173	14.45
15	18,344,118	2,366,581	12.90
16	19,006,693	1,976,486	10.40
17	18,749,692	2,423,921	12.93
18	19,965,065	2,592,455	12.98
19	18,602,322	2,654,745	14.27
20	17,734,280	2,235,598	12.61
21	19,924,768	2,605,183	13.07
22	20,701,016	2,608,586	12.60
23	20,827,562	2,638,554	12.67
24	21,119,733	2,232,954	10.57
25	21,037,315	2,217,879	10.54
26	22,857,643	2,282,911	9.99
27	21,322,607	2,739,460	12.85

IV 学校教育課

1 基本方針

- (1) 全教育活動を通して、豊かさとたくましさをもった児童・生徒の育成の推進
- (2) 児童・生徒の個性と創造力の育成の推進
- (3) 人間尊重の心情の育成の推進
- (4) 国際性をもって平和を愛する児童・生徒の育成の推進
- (5) 郷土に親しみ、郷土の発展に貢献する児童・生徒の育成の推進

2 重点施策

伝統である教育尊重の気風の上に立ち、社会的要請に応える教育内容の充実を図り、主体的・自主的に対応できる人づくりに努めるため、次の施策を推進する。

- (1) 教育環境の整備、教育機器、備品の整備充実の推進
- (2) 体験学習の重視
- (3) 人権同和教育の徹底
- (4) 特別支援教育の推進
- (5) 教職員の研修
- (6) 児童生徒指導、学校不適応に対する指導等教育相談の充実推進

3 小・中・須坂支援学校

(1) 市立学校一覧表

(平成28年5月1日現在)

学 校 名	所 在 地	創 立 年 月	学 校 長 名	教 頭 名	教 職 員 数 (休職者等を含む)	
					県費	市費
須坂小学校	大字須坂780	明治6.11	竹前傳藏	金井直樹	17	3
小山小学校	臥竜1-3-1	明治6.12	寺島寿一	中沢裕子	21	4
森上小学校	墨坂3-1-1	昭和9.7	天野義孝	堀紀美子	20	3
日滝小学校	大字日滝1648	明治6.11	丸山和男	佐藤利恵	20	3
豊洲小学校	〃小島473	明治7.2	北野宏治	浦野康彦	12	4
日野小学校	〃塩川151	明治22.	上野浩	宮坂俊之	21	6
井上小学校	〃幸高292	明治7.2	宮坂ゆかり	黒岩龍也	17	4
高甫小学校	〃八町1916	明治7.3	名取秀樹	竹内由紀	11	2
旭ヶ丘小学校	旭ヶ丘12-2	昭和46.6	湯本和子	花形敏郎	11	2
仁礼小学校	大字仁礼96-2	明治6.	小嶋保明	依田周二	16	3
豊丘小学校	〃豊丘1070	明治6.12	澁谷茂夫	佐藤富美子	11	1
計					177	35

学 校 名	所 在 地	創 立 年 月	学 校 長 名	教 頭 名	教 職 員 数 (休職者等を含む)	
					県費	市費
常 盤 中 学 校	大字日滝61	昭和22. 4	勝 山 幸 則	鈴木しのぶ	23	7
相 森 中 学 校	〃 日滝2082	昭和22. 4	島 田 浩 幸	大 塚 秀 樹	27	8
墨 坂 中 学 校	墨坂南2-19- 1	昭和33. 5	宮 下 正 満	西 原 秀 明	32	7
東 中 学 校	大字亀倉6-6	昭和33. 5	北 村 雅	興 幸 雄	17	5
計					99	27
須坂支援学校	〃 須坂780	平成23. 4	竹 前 傳 藏	小 平 直 司	16	7
合 計					292	69

※県費の教職員数には補充職員、非常勤講師は含めない。※市費の職員数は学校図書館員を本務校に含む。

(2) 児童・生徒数

(平成28年5月1日現在)

学 校 名	総 数		1 学 年		2 学 年		3 学 年		4 学 年		5 学 年		6 学 年	
	学級数	児 生 徒 数	学級数	児 生 徒 数	学級数	児 生 徒 数	学級数	児 生 徒 数	学級数	児 生 徒 数	学級数	児 生 徒 数	学級数	児 生 徒 数
須坂小学校	27	5188	1	27	1	32	2	41	1	35	1	23	1	30
小山小学校	214	6393	2	63	2	55	2	70	3	80	3	72	2	53
森上小学校	212	10314	2	251	2	43	2	61	2	59	2	49	2	51
日滝小学校	212	6310	2	55	2	46	2	58	2	54	2	51	2	46
豊洲小学校	26	8158	1	25	1	25	1	30	1	24	1	25	1	29
日野小学校	414	13364	3	72	3	72	2	56	2	56	2	63	2	45
井上小学校	211	9237	2	46	1	31	2	46	2	36	2	37	2	41
高甫小学校	16	1184	1	31	1	31	1	34	1	25	1	33	1	30
旭ヶ丘小学校	28	4192	1	30	2	39	1	30	1	33	21	37	1	23
仁礼小学校	211	6235	1	35	2	46	2	36	2	39	2	38	2	41
豊丘小学校	16	173	1	8	1	14	1	13	1	16	1	6	1	16
計	22107	692,648	17	443	18	434	18	475	18	457	19	434	17	405
常盤中学校	312	11345	4	116	4	118	4	111						
相森中学校	312	18355	4	110	4	128	4	117						
墨坂中学校	317	14541	6	180	5	163	6	198						
東 中 学 校	27	6200	2	66	2	59	3	75						
計	1148	491,441	16	472	15	468	17	501						
須坂 支援 学校	小学部	921	1	5	1	4	1	2	1	3	1	3	1	4
	中学部	412	1	5	1	3	1	4						
	計	1333												
合 計	46155	1514,089												

上段は、特別支援学級（外書き）

(峰の原高原児童生徒)

		総 数		1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		5 学年		6 学年	
		学級数	児 生 徒 数	学級数	児 生 徒 数	学級数	児 生 徒 数	学級数	児 生 徒 数	学級数	児 生 徒 数	学級数	児 生 徒 数	学級数	児 生 徒 数
区 域 外 就 学	菅平小学校	4	5	1	1					1	1	1	1	1	2
	菅平中学校	2	2	1	1			1	1						
	計	6	7												

(3) 児童・生徒数の推移

(各年度 5月1日現在・区域外就学は3月31日現在)

年度 学校名	19 年度		20 年度		21 年度		22 年度		23 年度		24 年度		25 年度		26 年度		27 年度		28 年度	
	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数
須坂小学校	2 12	3 250	2 10	7 232	2 9	6 205	2 9	5 196	2 8	5 190	2 8	3 176	2 8	4 181	2 9	4 185	2 8	6 196	2 7	5 188
小山小学校	2 16	6 457	2 17	7 473	2 18	8 480	2 18	5 476	2 17	4 457	2 15	6 429	2 15	6 429	2 14	6 422	2 14	6 402	2 14	6 393
森上小学校	2 13	7 377	2 13	6 387	2 13	5 391	2 14	4 379	2 13	5 371	2 12	4 349	2 12	5 348	2 12	8 344	2 12	7 311	2 12	10 314
日滝小学校	1 12	2 291	1 12	2 297	2 12	5 299	2 12	6 297	2 12	5 294	2 12	5 294	2 12	6 300	2 12	5 315	2 12	5 304	2 12	6 310
豊洲小学校	1 12	2 285	1 12	4 285	1 12	3 265	1 12	2 255	1 11	3 245	1 10	4 225	2 9	7 202	2 8	6 188	2 7	5 170	2 6	8 158
日野小学校	4 12	16 321	4 12	16 337	3 12	11 333	3 12	13 349	3 12	14 345	3 13	14 351	3 12	15 351	3 12	14 336	4 13	18 350	4 14	13 364
井上小学校	1 11	1 266	1 11	1 273	2 11	6 275	1 11	4 284	2 11	6 280	2 12	6 278	1 11	6 261	2 11	7 257	2 10	9 237	2 11	9 237
高甫小学校	1 9	1 198	1 10	1 210	1 9	1 200	1 9	1 199	1 8	1 189	1 8	1 194	1 7	1 180	1 6	1 174	1 6	1 180	1 6	1 184
旭ヶ丘小学校	2 11	5 247	2 10	4 230	1 10	2 242	2 10	3 232	2 9	3 209	2 8	6 201	2 8	6 205	2 9	7 200	2 9	4 194	2 8	4 192
仁礼小学校	1 12	1 307	1 12	1 303	2 12	5 276	2 12	4 291	2 12	3 292	2 12	4 281	2 12	5 270	2 12	5 254	2 12	4 251	2 11	6 235
豊丘小学校	1 6	2 122	1 6	2 114	1 6	3 115	1 6	4 107	1 6	2 97	1 6	2 88	1 6	2 91	1 6	2 82	1 6	1 82	1 6	1 73
計	18 126	46 3, 121	18 125	51 3, 141	19 124	55 3, 081	19 125	51 3, 065	20 119	51 2, 969	20 116	55 2, 866	20 112	63 2, 818	21 111	65 2, 757	22 109	66 2, 677	22 107	69 2, 648

年度 学校名		19 年度		20 年度		21 年度		22 年度		23 年度		24 年度		25 年度		26 年度		27 年度		28 年度	
		学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数
常盤中学校		3 10	11 336	3 10	11 345	2 10	10 350	2 10	9 341	2 11	9 348	3 12	11 360	2 12	7 355	3 12	12 354	3 12	13 348	3 12	11 345
相森中学校		3 13	15 472	2 12	10 457	3 13	11 460	3 13	9 463	4 14	15 464	3 14	13 452	3 14	13 419	4 13	15 395	4 12	17 374	3 12	18 355
墨坂中学校		2 14	8 474	2 13	10 454	3 13	13 471	3 13	15 462	3 16	13 506	3 16	14 506	3 17	17 521	3 16	16 532	3 16	15 534	3 17	14 541
東 中 学 校		1 9	4 258	1 8	3 249	2 7	7 238	2 6	5 212	2 6	9 208	2 7	4 202	2 8	4 209	2 8	3 211	2 7	5 199	2 7	6 200
計		9 46	38 1,540	8 43	34 1,505	10 43	41 1,519	10 42	38 1,478	11 47	46 1,526	11 49	42 1,520	10 51	41 1,504	12 49	46 1,492	12 47	50 1,455	11 48	49 1,441
須坂支援学校	小学部									7	10	7	13	7	13	8	17	9	20	9	21
	中学部													3	7	4	10	4	11	4	12
	計									7	10	7	13	10	20	12	27	13	31	13	33
合 計		27 172	84 4,661	26 168	85 4,646	29 167	96 4,600	29 167	89 4,543	38 166	107 4,495	38 165	110 4,386	40 163	124 4,322	45 160	138 4,249	47 156	147 4,132	46 155	151 4,089

上段は、特別支援学級（外書き）

（峰の原高原児童生徒）

年度 学校名		19年度		20年度		21年度		22年度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
		学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数
区 域 外 就 学	菅平小学校	6	12	6	7	6	7	6	6	6	8	6	9	6	10	5	9	4	7	4	5
	菅平中学校	3	10	3	7	3	6	3	3	3	3	3	4	3	2	2	3	1	1	2	2
	計	9	22	9	14	9	13	9	9	9	11	9	13	9	12	7	12	5	8	6	7

(4) 小・中学校校舎、屋体、校地保有面積一覧表

(平成28年5月1日現在)

項目 学校名	学級数	校舎面積（換算前保有面積）㎡				屋体面積（保有面積）㎡				校 地 面 積 ㎡				
		R	S	W	計	R	S	W	計	建物敷地	運 動 場	実験実習他 そ の 他	借 用 地	計
須坂小学校	9	6,019	334		6,353		975		975	5,487	9,779	869	7,647	23,782
小山小学校	16	4,308	81		4,389		896		896	4,759	5,731			10,490
森上小学校	14	4,936	30		4,966		981		981	8,489	12,765			21,254
日滝小学校	14	3,641	84		3,725		968		968	8,750	10,330			19,080
豊洲小学校	8	4,299	220		4,519		974		974	6,317	9,165	995		16,477
日野小学校	18	3,535	430		3,965		865		865	4,049	9,654			13,703
井上小学校	13	3,795	220		4,015		968		968	8,034	9,194			17,228
高甫小学校	7	4,228	196		4,424		931		931	10,425	7,225	306		17,956
旭ヶ丘小学校	10	4,064	217		4,281	737			737	8,204	8,941			17,145
仁礼小学校	13	4,434	66		4,500		1,025		1,025	9,298	7,888			17,186
豊丘小学校	7	3,027	144		3,171		512		512	4,687	8,077	198		12,962
計	129	46,286	2,022		48,308	737	9,006		9,743	78,499	98,749	2,368	7,647	187,263
常盤中学校	15	5,616	81		5,697		1,141		1,141	15,287	12,022			27,309
相森中学校	15	7,037	85	451	7,573		2,280		2,280	18,594	19,134			37,728
墨坂中学校	20	7,220	536		7,756		1,872		1,872	13,227	18,196			31,423
東 中 学 校	9	5,610	135		5,745		1,664		1,664	13,876	16,837	5,907		36,620
計	59	25,483	837	451	26,771		6,957		6,957	60,984	66,189	5,907		133,080
合 計	188	71,769	2,859	451	75,079	737	15,963		16,700	139,483	164,938	8,275	7,647	320,343

備考：R＝鉄筋コンクリート造、S＝鉄骨造、W＝木造

(5) 小・中学校水泳プール設置（保有）状況

(平成28年5月1日現在)

項目 学校名	設 置 年月日	大 ・ 小 プ ー ル 規 格				合 計 面積㎡	附 帯 設 備	備 考
		大プール水槽規格m	面積㎡	小プール水槽規格m	面積㎡			
須坂小学校	S39. 6	25×15× (1.0～1.2)	375	$(20 \times 5) + (5 \times 5) \times 0.7$	125	500	更・シ・消・浄・洗・便・上	S62プール補修 H26プールシート防水工事
小山小学校	S55. 7	25×15× (1.0～1.3)	375	$\frac{(3+4.6)}{2} \times 7 \times (0.6 \sim 0.7)$	26.6	401.6	シ・消・浄・洗・便・上	S55. 7
森上小学校	S44. 6	25×15× (1.0～1.3)	375	15×8×0.6	120	495	シ・消・浄・洗・便・上	H元プール補修 H28プールシート防水工事
日滝小学校	S56. 6	25×15× (1.0～1.3)	375	10×10×0.7	100	475	更・シ・消・浄・洗・便・上	H21プールシート防水工事
豊洲小学校	S55. 1	25×15× (1.0～1.3)	375	10×6×(0.6～0.7)	60	435	シ・消・浄・洗・便・上	H8プール補修 H27プールシート防水工事
日野小学校	S58. 6	25×15× (1.0～1.3)	375	10×10×0.7	100	475	更・シ・消・浄・洗・便・上	H14更衣室棟改築
井上小学校	S57. 6	25×15× (1.0～1.3)	375	10×10×0.7	100	475	更・シ・消・浄・洗・便・上	
高甫小学校	S61. 7	25×15× (1.0～1.3)	375	12.5×5×(0.7～0.75)	62.5	437.5	更・シ・消・浄・洗・便・上	S61新設改修
旭ヶ丘小学校	S46. 6	25×15× (1.0～1.3)	375	15×7×0.6	105	480	更・シ・消・浄・洗・便・上	H4既存プール補修 H25プールシート防水工事
仁礼小学校	S37. 7	25×12× (1.0～1.3)	300	10×10×0.7	100	400	更・シ・消・浄・洗・便・上	S61プール補修 S61小プール設置
豊丘小学校	S59. 7	25×15× (1.0～1.3)	375	10×10×0.7	100	475	更・シ・消・浄・洗・便・上	
計	11		4,050		999.1	5,049.1		
常盤中学校	H13. 3	25×16× (1.2～1.4)	400			400	更・シ・浄・洗・便・上	H13. 3 新設改修(国庫補助事業)
相森中学校	H13. 5	25×16× (1.2～1.4)	400			400	更・シ・浄・洗・便・上	H13. 5 新設改修(同 上)
墨坂中学校	H18. 7	25×16× (1.2～1.4)	400			400	更・シ・浄・洗・便・上	H18. 7 新設改修(同 上)
東 中 学 校	H7. 3	25×16× (1.2～1.4)	400			400	更・シ・浄・洗・便・上	H7. 3 新設改修(同 上)
計	4		1,600			1,600		
合 計	15		5,650		999.1	6,649.1		

備考：更＝更衣室、シ＝シャワー、消＝消毒槽、浄＝浄化装置、洗＝洗眼、便＝便所、上＝上水道

(6) 校舎等改築状況

<小学校>

年度 学校名	S45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H13
須坂小学校			校 91,305	校 134,864	校 104,363	校 77,230														
小山小学校									校 279,404	校 195,900	プ 35,995	屋 107,830								
森上小学校													校 362,200	校 327,400	屋 163,200					
日滝小学校									校 190,480	校 209,509 屋 109,650		プ 37,180								
豊洲小学校							校 186,284	校 205,344	屋 104,800	プ 32,500	校 37,000									
日野小学校							校 95,970	校 230,360	屋 97,700					プ 44,930						校 33,495
井上小学校											校 244,750	校 315,180	屋 154,020 プ 40,050							
高甫小学校										校 179,300	校 375,750					屋大 34,500	プ 47,580			
旭ヶ丘小学校	校 43,008	校 121,306 プ 10,975	屋 33,433																	
仁礼小学校												校 314,700	校 328,400		校 33,600		プ 21,000		屋 184,050	
豊丘小学校														校 317,143	校屋 175,757 プ 48,200					

※平成12年度以降は、工事請負費のみ（千円）

備考：校＝校舎、屋＝屋内運動場、武＝武道場、プ＝プール

大＝大規模改修、耐＝耐震補強、非＝非構造部材耐震化、防＝防災機能強化、シ＝シート防水

< 小学校 >

年度 学校名	H14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
須坂小学校	Ⓔ耐 16,800				Ⓔ耐 302,389							Ⓔ校 防火設備改修 27,069	Ⓔ非 23,209 ㊦シ 18,088		
小山小学校						Ⓔ校 21,315		Ⓔ校 大・耐 163,401		㊦シ 11,088				Ⓔ非 21,870	
森上小学校														Ⓔ非 13,068	Ⓔ校防 90,353 ㊦シ 25,823
日滝小学校				Ⓔ耐 9,587				㊦シ 10,721	Ⓔ校 大・耐 215,197					Ⓔ非 15,206	
豊洲小学校				Ⓔ耐 12,264					Ⓔ校 大・耐 234,465					㊦シ 20,628 Ⓔ非 13,252	
日野小学校				Ⓔ耐 12,684		Ⓔ校 19,876	Ⓔ校 大・耐 169,922							Ⓔ非 22,032	
井上小学校										Ⓔ校 大・耐 225,225	Ⓔ非 17,535			Ⓔ非 12,960	
高甫小学校			Ⓔ非 169,922							Ⓔ校 大・耐 227,314				Ⓔ非 7,571	
旭ヶ丘小学校	Ⓔ校大 737,993											㊦シ 13,986	Ⓔ非 13,889		
仁礼小学校														Ⓔ非 13,068 Ⓔ校防 106,315	
豊丘小学校					Ⓔ耐 31,804								Ⓔ非 10,670		Ⓔ校防 86,400

※平成12年度以降は、工事請負費のみ（千円）

備考：Ⓔ＝校舎、Ⓔ＝屋内運動場、Ⓔ＝武道場、㊦＝プール

大＝大規模改修、耐＝耐震補強、非＝非構造部材耐震化、防＝防災機能強化、シ＝シート防水

< 中学校 >

年度 学校名	S57	58	59	60	61	62	63	H 元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
常盤中学校					校 189,840	校 292,160	校 477,470	屋 228,298											フ 39,312	
相森中学校								校 436,051	校 410,846	校 510,180										フ 111,405 校大 48,300
墨坂中学校					屋大 27,300						校 629,330	校 922,616	校 212,958							
東中学校			屋大 24,600										校 722,503 フ 116,699	校 552,564						

< 中学校 >

年度 学校名	H14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
常盤中学校								武 205,800					屋非 15,541	武非 23,371	
相森中学校						屋武 526,155								屋武 非 702	
墨坂中学校			屋武 401,888	フ 114,035								校 9,660		屋武 非 30,899	
東中学校	屋武 447,176													屋武 非 45,738	

※平成 12 年度以降は、工事請負費のみ（千円）

備考：校＝校舎、屋＝屋内運動場、武＝武道場、フ＝プール

大＝大規模改修、耐＝耐震補強、非＝非構造部材耐震化、防＝防災機能強化、シ＝シート防水

(7) 小・中学校の沿革

須坂小学校

明治6年11月日滝村と連合して、旧須坂藩々校立成館の地に「本立学校」を創立する。翌7年旧日滝村が独自で学校を設立したため、通学区は須坂一村のみ同13年5月須坂学校と改称、同22年須坂尋常小学校を組織する。高等科は一郡一校制となり上高井郡立高等小学校を須坂尋常小学校内に設置する。同25年郡立高等小学校を廃止し、新たに須坂町外八ヵ村組合高等小学校を組織する。同28年3月これが解散したため、町立須坂尋常高等小学校を設置する。大正3年常盤部および中町部と改称、同7年2月須坂実科高等女学校併置、中町部廃止、同11年旧豊丘村の一部を合併し小山部校と称する。同12年女学校を組合立とする。昭和9年森上部新設、同11年日滝村合併に伴い、須坂尋常高等小学校日滝部校と改称。1小学校4部校制。同16年部校廃止、国民学校と改称、同22年新学制実施により須坂町立須坂小学校となり、同29年4月市制施行により、須坂市立須坂小学校となる。同47、48、49、50年の4ヵ年にわたり校舎全面改築完了、同48年11月開校100周年記念式典が挙行される。50年度屋内運動場改築、51年度渡り廊下新築される。

小山小学校

明治6年小山村円光寺内に設立し、止善学校と称する。同11年現位置に新築移転、同15年小山小学校設立許可される。同39年雨天体操場新築、大正11年須坂町に合併、須坂尋常高等小学校小山部校と称する。大正10年11月本校舎新築、昭和3年校舎増築、同16年部校廃止、同年より須坂町立小山国民学校と称する。同22年新学制実施により須坂町立小山小学校と称する。同28年校舎増築、同29年4月須坂市立小山小学校となる。同48年開校100周年記念式典挙行される。同53、54、55、56年度の4ヵ年にわたり校舎、屋内運動場、プール全面改築される。

森上小学校

昭和8年起工、同9年7月開校、須坂尋常小学校森上部と称する。同16年4月須坂町立森上国民学校と改称、同22年4月新学制実施により須坂町立森上小学校と称する。同27年7月普通教室増築、同29年4月須坂市立森上小学校となる。同54年開校45周年記念式典挙行される。同57、58、59年度の3ヵ年にわたり校舎、屋内運動場全面改築される。同59年創立（開校）50周年・校舎総改築記念式典挙行される。平成6年創立（開校）60周年記念式典挙行される。平成16年創立（開校）70周年記念式典挙行される。平成26年創立（開校）80周年記念式典挙行される。

日滝小学校

明治6年須坂町と協議して設立、明治7年大谷日滝寺を校舎とする（潤身学校）。明治11年宮原に学校を新築、同15年日滝学校と称する。同18年高井学校と合併、同22年独立して日滝尋常小学校と称する。同34年高等科を併置し現地に改築する。昭和11年須坂町に合併、須坂尋常高等小学校日滝部となり、同13年6月校舎増築、同16年独立須坂町立日滝国民学校、同22年新学制実対により須坂町立日滝小学校と

なり、同29年4月須坂市立日滝小学校となる。同49年開校100周年記念式典挙行される。同53、54年度の2ヵ年にわたり大字日滝1648番地へ移転改築される。同56年にはプールが移転改築される。

豊洲小学校

明治7年創立、同22年までは分合が多く管理者の交替も頻繁であったため、事実の明瞭さに欠くことがあったが、同22年町村制実施と共に分立し豊洲尋常小学校となり、次いで同24年4月高等科を併置、昭和16年4月豊洲国民学校と改称、同22年4月新学制実施により豊洲小学校と改称、同29年町村合併により須坂町立豊洲小学校と改称、同年4月市制施行につき、須坂市立豊洲小学校となる。同51、52、53、54年度にわたり校舎、屋内運動場、プールが全面改築される。平成元年度開校100周年記念式典が挙行される。

日野小学校

明治22年沼目学校設立、同24年4月日野小学校と改称、同25年日野尋常小学校となる。同43年現在地に校舎を新築移転、昭和16年日野国民学校と改称、同22年4月日野小学校と改称、同29年2月町村合併により須坂町立日野小学校、同29年4月市制施行により須坂市立日野小学校となる。同51、52、53年度にわたり校舎、屋内運動場が全面改築され、同58年にはプールが全面改築される。平成13年度エレベーターが設置される。平成19年度に東校舎が全面改築され2階建てとなる。平成21年開校100周年記念式典挙行される。

井上小学校

明治7年井上村円了寺に道生学校創立、明治19年井上村青木道之助氏宅に移り、別に円了寺に分教場をおく。同22年井上尋常小学校と改称、同31年高等科を併置、同37年に現在地に校舎新築移転、昭和16年井上国民学校と改称、同22年井上小学校となり、同30年1月に須坂市に合併により須坂市立井上小学校となる。同49年開校100周年記念式典挙行される。同55年、56年、57年の3ヵ年にわたり校舎、屋内運動場、プールが全面改築される。平成5年、開校120周年記念式典が挙行される。

高甫小学校

明治7年野辺広正寺に克讓学校設立。同20年八町松沢要右エ門宅に移転、同21年井上小学校八町支校となる。同22年4月高甫村成立にともない高甫尋常小学校と改称、同27年現在地に校舎新築移転、同37年校舎を増築する。大正15年北校舎改築落成、昭和16年4月高甫国民学校と改称する。同22年4月高甫小学校と改称、同30年1月須坂市への合併により須坂市立高甫小学校となる。同49年開校100周年記念式典挙行され、同54、55年度の2ヵ年にわたり普通教室棟、特別教室、管理棟全面改築される。同61年度にはプールが全面改修される。平成17年度には高竜池の造成が行われる。平成26年、開校140周年記念式典が挙行される。

旭ヶ丘小学校

昭和46年4月豊洲小学校旭ヶ丘校舎として授業開始、同年6月校舎、プール新築開校、旭ヶ丘小学校と称する。同47年11月屋内運動場が新築される。同55年開校10周年記念式典が挙行される。平成2年開校20周年記念式典が挙行され、校内施設充実事業で郷土室が完成する。平成12年11月、開校30周年記念式典が挙行される。平成22年開校40周年記念式典挙行される。

仁礼小学校

明治6年高顕寺、万竜寺に開設、同7年仁礼学校、成器学校と称する。同19年2校を合併、仁礼尋常小学校と称する。同28年仁礼尋常高等小学校と改称、大正11年校舎を現在地に移転、昭和16年仁礼国民学校と改称、同22年仁礼小学校となり、同30年豊丘村と合併により、東村立南部小学校と改称、同40年屋内運動場改築、同46年須坂市と合併により、南部小学校を仁礼小学校に改め須坂市立仁礼小学校となる。同49年開校100周年記念式典挙行される。同56、57年度の2ヵ年にわたり校舎全面改築される。また、同59年度には普通教室棟が増築される。同61年には、プールが全面改修される。同63年度には屋内運動場が改築される。

豊丘小学校

明治6年小山村止善学校支校を灰野村旧地善堂に設立、同11年競進学校と改称する。同15年園里学校と改称、同18年須坂学校園里支校と称する。同22年小山学校園里支校と改称、同25年小山学校園里支校を独立して園里尋常小学校と称する。同34年高等科を併置、昭和4年現在地に校舎新築移転、同5年豊丘尋常高等学校に改称、同16年豊丘国民学校、同22年豊丘小学校と改称、同30年仁礼村との合併により東村立東部小学校と改称する。同46年須坂市と合併により東部小学校を豊丘小学校に改め須坂市立豊丘小学校となる。同49年開校100周年記念式典挙行される。同58、59年度の2ヵ年にわたり校舎、プールが全面改築される。

常盤中学校

昭和22年4月須坂町立須坂中学校として須坂町大字須坂780番地須坂小学校内に設置、同23年3月須坂町立中学校解散廃校、同23年4月須坂中学校に須坂町立常盤中学校を設置、同27年5月現在地に新築移転、同29年4月須坂市立常盤中学校となる。10月体育館落成。同33年11月創立10周年記念式典挙行。11月給食室竣工。同37年特殊学級開設。同38年技術科・音楽室竣工。10月創立15周年記念式典挙行。同39年プール竣工。同42年11月創立20周年記念式典挙行。和風洋風庭園をつくる。同49年6月宿直廃止。同52年11月開校30周年記念式典挙行。校歌碑建立。同53年3月体育館に「切磋琢磨（上条信山書）」掲額。4月相森中学校通学区の一部（高橋、大谷、本郷の新一年生から）が変更され、常盤中学校通学区に編入される。同61年度から平成元年度までの4ヵ年にわたり校舎及び屋内運動場が改築。平成2年9月校舎改築記念式典挙行。平成3年3月コンピューター教室落成。平成9年9月創立50周年記念常盤祭。平成13年プール移転改築。プール跡地にテニスコート新設。同17年カモシカ広場整備着工。同18年4月ブレザー型制服制定。同19年8月男子バレーボール部全国大会出場ベスト16。9月創立60周年記

念式典挙行。平成21年度に常盤中武道場建設工事が行われる。

相森中学校

昭和22年4月新学制の実施により須坂中学校開校、同23年3月廃校、新たに相森中学校開校、4月より元日本測定器会社の工場を買収、これを改造し校舎として開校。同29年市立相森中学校となる。同30、31年豊洲中学校を統合、本校校舎改築。同51年30周年記念式典挙行される。同53年通学区の一部（高橋、大谷、本郷の新一年生から）が変更され常盤中学校通学区に編入。同56年度校舎増築、同60年度にはプール全面改修。同61年40周年記念式典挙行。

平成元年4月から、墨坂中学校通学区の一部（田の神町の新一年生から）変更され、相森中学校通学区に編入される。同元年度から3年度までの3ヵ年にわたり校舎が全面改築される。同8年度50周年記念式典。同13年度プール改築。及びエレベーターが設置される。同18年度60周年記念式典挙行。同20年3月、武道場を併設した屋内運動場完成。

墨坂中学校

昭和33年5月、日野、高甫、井上の各中学校を統合し、同年9月開校する。昭和33年3月第二校舎新築、更に昭和33年10月第一校舎、保健室、給食室を新築する。同43年開校10周年記念式典挙行。同53年開校20周年記念式典挙行。同61年度、屋内運動場、プールが大規模改修。同63年開校30周年記念式典挙行。平成元年4月から、通学区の一部（田の神町の新一年生から）が通学区変更され、相森中学校通学区に編入される。平成4年度から6年度までの3カ年にわたり校舎が全面改築される。平成10年開校40周年記念式典挙行。平成17年度に武道場を併設した屋内運動場、平成18年度にプールの全面改築が行われる。平成20年開校50周年記念式典挙行。

東中学校

昭和33年5月東村南部中学校、東部中学校の統合により東村立東中学校となる。同34年校舎新築、同35年屋内運動場、給食室、音楽室新築、同46年須坂市と合併により須坂市立東中学校となる。同53年開校20周年記念式典挙行される。同59年度屋内運動場が大規模改修される。同62年度にはプール全面改修される。同63年開校30周年記念式典挙行。

平成6・7年度の2カ年にわたり、校舎、プールが全面改築される。平成9年度40周年記念式典。同14年度武道場を併設した屋内運動場が全面改築される。平成19年創立50周年記念式典挙行。

須坂支援学校

平成23年4月、須坂市立須坂支援学校として、須坂小学校校舎の一部を活用し開校する。市町村立の特別支援学校としては、長野県内で初めてとなる。小学部に続き、平成25年4月からは中学部が開校する。

(8) 小・中学校の通学区域

学 校 名	通 学 区 域
須坂小学校	穀町 上町 本上町 上中町 中町 春木町 太子町 新町 常盤町 横町 立町
小山小学校	坂田町 南原町 北原町 小山町 屋部町
森上小学校	東横町 南横町 北横町 馬場町 須坂ハイランド町 八幡町 境沢町
日滝小学校	相森町 高橋町 大谷町 本郷町
豊洲小学校	南小河原町 小河原町 新田町 小島町 相之島町 北相之島町 豊島町
日野小学校	八重森町 沼目町 塩川町 高梨町 五閑町 村山町 田の神町 西町
井上小学校	井上町 福島町 中島町 九反田町 幸高町 米持町 二睦町
高甫小学校	上八町 下八町 野辺町 村石町 明德町 望岳台
旭ヶ丘小学校	高畑町 旭ヶ丘町 北旭ヶ丘町 松川町 光ヶ丘ニュータウン
仁礼小学校	仁礼町 亀倉町 夏端町 米子町 塩野町
豊丘小学校	大日向町 豊丘町 豊丘上町
常盤中学校	穀町 上町 本上町 上中町 中町 新町 常盤町 立町 坂田町 南原町 北原町 小山町 高橋町 大谷町 本郷町 村石町 明德町
相森中学校	春木町 太子町 東横町 南横町 北横町 横町 馬場町 西町 須坂ハイランド町 相森町 南小河原町 小河原町 新田町 小島町 相之島町 北相之島町 豊島町 高畑町 旭ヶ丘町 北旭ヶ丘町 松川町 光ヶ丘ニュータウン 田の神町
墨坂中学校	屋部町 八幡町 境沢町 八重森町 沼目町 塩川町 高梨町 五閑町 村山町 井上町 福島町 中島町 九反田町 幸高町 米持町 二睦町 上八町 下八町 野辺町 望岳台
東中学校	仁礼町 亀倉町 夏端町 米子町 塩野町 大日向町 豊丘町 豊丘上町

※峰の原高原の児童・生徒は、上田市立菅平小中学校に通学している。

4 高等学校

(平成28年 5 月 1 日現在)

学 校 名	公 私 別	所 在 地	校 長 名	生 徒 数(人)	備 考
須坂商業高等学校	県 立	馬 場 町	山下 智	109	全 日 制
須坂創成高等学校 (須商キャンパス)				241	全 日 制
須坂東高等学校	県 立	常 盤 町	外山 勇一	642	全 日 制
須 坂 高 等 学 校	県 立	立 町	鈴木 詩郎	725	全 日 制
須坂園芸高等学校	県 立	南 横 町	小椋 勇人	152	全 日 制
須坂創成高等学校 (須園キャンパス)				318	全 日 制
計 4 校	(創成高校は商業高校と園芸高校に含めています)			2187	

5 いじめ等対策事業

事 業 名	目 的
指導主事による指導	いじめに対する対応や調査、教員、学校等への相談、指導を行う。
スクールカウンセラーの活用	スクールカウンセラーは、年間スケジュールに沿って担当する小・中・支援学校へ訪問する。また、必要に応じて、児童生徒及び保護者と相談することで、児童生徒の心の安定を図り、問題解決の支援に当たる。
電話相談 (教育相談室の電話相談の活用)	いじめ等各種の悩みに共感し、心の浄化と解決方法の提示、相談者の了解の上での学校への対応によって事態の改善を図る。

6 小・中学校巡回教育相談

いじめや不登校等児童・生徒の問題行動等の対応に当たっては、学校におけるカウンセリング等の機能の充実を図ることが重要な課題である。この課題解決の施策として児童・生徒の臨床心理に関して専門的な知識・経験を有する教育相談員を配置して、児童・生徒の問題行動等の解決に資する。

また、教育相談業務の充実を図るため、市内小学校を巡回する教育相談員を配属し、市内小学校を巡回して相談・指導を行っている。

(1) 教育相談員の職務

- ① 児童・生徒へのカウンセリング
- ② カウンセリング等に関する教職員及び保護者に対する助言・援助
- ③ 児童・生徒のカウンセリング等に関する情報収集・提供
- ④ カウンセリングを必要とする児童生徒の活動支援

(2) 小学校巡回教育相談

内 容	件数	内 容	件数	内 容	件数
1 不登校・不登校傾向	8	5 学校・教師	288	9 不適応	26
2 いじめ	0	6 家庭環境・家族関係	6	10 その他	2
3 友人関係	0	7 しつけ・育児	6	計	369
4 学習・進路	33	8 性格	0		

7 須坂市フレンドリールーム

フレンドリールームとは、登校復帰を願う児童生徒を援助することを目的としている中間教室。
指導は、適応指導員が行う。

- (1) 設 置 平成4年4月1日
(2) 位 置 須坂市大字日滝2028（相森中学校内）

8 教育相談室

- 1 設 置 昭和58年4月1日
2 事業内容
(1) 面接相談・家庭訪問

① 内容別

年 度	24		25		26		27		28	
内 容 件数	件数	相談延回数	件数	相談延回数	件数	相談延回数	件数	相談延回数	件数	相談延回数
性格・生活習慣	2	2	1	1	0	0	0	0	2	5
知的発達遅滞	0	0	2	2	0	0	14	14	1	1
学 校 生 活	146	147	134	134	182	212	194	197	72	168
非 行	0	0	0	0	9	16	3	3	0	0
家 庭 関 係	4	4	10	10	14	22	12	12	2	6
環 境 福 祉	2	2	0	0	14	19	7	11	1	1
身 体 障 害	3	4	2	2	3	3	1	1	1	1
情 緒 障 害	0	0	0	0	0	0	27	27	3	3
そ の 他	13	13	20	22	21	24	8	14	88	95
計	170	172	169	171	243	296	266	279	170	280

② 校種別

年 度	24		25		26		27		28	
内 容 件数	件数	相談延回数	件数	相談延回数	件数	相談延回数	件数	相談延回数	件数	相談延回数
来 入 児	132	133	128	128	136	139	179	179	76	76
小 学 校	24	24	32	34	61	92	55	58	65	165
中 学 校	12	12	8	8	46	65	28	36	21	26
高 校	2	3	1	1	0	0	4	6	8	13
計	170	172	169	171	243	296	266	279	170	280

(2) 電話相談

年 度	件 数	延 回 数
21	42	61
22	30	33
23	21	21
24	19	19
25	16	16
26	104	128
27	230	260
28	142	180

9 外国人講師（外国語指導助手）

国際理解教育の一環として、中学生の英語科授業で生徒が直接外国人に接し、英語を聞いたり話したりすることで、言語や文化の理解や積極的なコミュニケーション態度の育成、4技能の基礎能力を高めたいけるように役立てるため、各中学校に外国語指導助手を派遣している。

勤 務 期 間	氏 名	性別	出 身 国	備 考
平成27年4月1日 ～平成28年3月31日	Alina Perez Gomez (アリーナ・ペレズゴメズ)	女	アメリカ	民 間 委 託
平成28年1月25日 ～現在	Jamie Smith (ジェミー・スミス)	男	スコットランド	民 間 委 託

児童が直接外国人に接し、言語や文化について体験的に理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に親しみながらコミュニケーション能力を育てたいけるように役立てる。

(市内の小学校11校を訪問し、5, 6年生の35時間のうち20回にALTを派遣する。1～4年生についてはコミュニケーション能力の素地を養うため、1校当たり4年生に12回、1～3年生に8回、特別支援学級に5回派遣する。)

勤 務 期 間	氏 名	性別	出 身 国	備 考
平成23年4月1日 ～現在	James William Ledford III (ジェームス・ウィリアム・レットフォード)	男	アメリカ	直 接 雇 用
平成26年8月26日 ～現在	Stephen Corrigan (スティーブン・コリガン)	男	カナダ	直 接 雇 用
平成26年4月1日 ～平成29年3月31日	Courtney Smith (コートニー・スミス)	女	アメリカ	民 間 委 託

10 交流事業

(1) 姉妹都市交流

姉妹都市・新潟県新発田市の米子小学校児童と須崎市小学校児童とが年1回交流し、両市町の地理、歴史などを学習した。本事業は平成26年度で終了した。(姉妹都市・神奈川県三浦市との交流は、児童青少年健全育成事業として実施している。49ページ参照)

(2) 友好都市交流（須坂市生徒友好訪中団派遣事業）

中華人民共和国吉林省四平市との友好都市締結を契機に、未来を担う中学生を対象に友好訪中団を結成し、両市の友好親善を深め、生徒の国際感覚を培い人間形成に役立たせることを目的として実施している。（平成5・6年度は、須坂市日中友好協会主催であったが、平成7年度から須坂市教育委員会主催事業とした。）平成16年度からは、隔年実施とした。（平成18年・20年・22年度は事情により中止。平成21年度は、友好都市締結15周年記念訪中団に同行。平成23年度は、須坂市民訪中団に併せて参加した。平成24・25年度は事情により中止。平成26年度は須坂市民訪中団に併せて参加した。）

11 育 英 事 業

(1) 奨 学 金（創設 昭和35年7月）

①貸与月額（ ）内は平成14年4月1日以降の新規貸与者に対する貸与月額

(イ) 高校生 公立 7,000円（10,000円）以内

私立 15,000円（21,000円）以内

(ロ) 高専生 12,000円（17,000円）以内

(ハ) 大学生 国公立 ———— 自宅通学 18,000円（26,000円）以内

———— 自宅外通学 23,000円（33,000円）以内

私 立 ———— 自宅通学 25,000円（36,000円）以内

———— 自宅外通学 35,000円（50,000円）以内

②貸与状況

年 度	25		26		27		28	
人数／金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
高 校 生	0	0	0	0	0	0	0	0
高 専 生	0	0	0	0	0	0	0	0
大 学 生	12(2)	6,552,000	10(1)	5,640,000	13(5)	7,260,000	9(2)	4,856,000
計	12(2)	6,552,000	10(1)	5,640,000	13(5)	7,260,000	9(2)	4,856,000

() 内は当年度採用者（内書き）

③ 積立基金（平成29年3月31日現在）

須 坂 市 奨 学 金 積 立 基 金	10,670,500円
高 梨 兵 左 衛 門 積 立 基 金	682,138円
積 立 基 金 計	11,352,638円

12 児童センター・地域児童クラブ・委託児童クラブ

留守家庭児童を中心に放課後児童健全育成事業を推進するとともに、児童センターでは一般児童に対しても健全な遊び場を提供し、集団的及び個別的な活動を通じて健康の増進と情操を豊かにすることを目的としている。

また、未就園児とその保護者の集まりの場として子育て支援事業を進めている。

委託児童クラブについては、児童・生徒の福祉増進と健全育成を図るため、民設の学童保育どんぐりクラブと地区区長（3町）に、その管理・運営を委託している。

児童センター・地域児童クラブ・委託児童クラブの状況 (平成28年4月1日現在)

児 童 ク ラ ブ 名	開 設 場 所	開設年月日	登録児童数	児童厚生員等
中央児童センター	大字須坂1212-1	昭和44. 10. 1	—	3
南部児童センター	墨坂南4-1-8	昭和57. 4. 1	82	3
東部児童センター	大字日滝91-4	昭和59. 4. 1	61	7
北部児童センター	大字小河原3305-1	平成 5. 4. 7	52	2
豊洲地域児童クラブ	大字小島401番地1	平成14. 4. 1	46	4
井上地域児童クラブ	井上小学校構内	〃	62	3
高甫地域児童クラブ	高甫小学校教室	〃	48	2
仁礼地域児童クラブ	大字仁礼91-1	平成15. 4. 1	64	4
豊丘地域児童クラブ	旧園里学校内	〃	30	2
日滝地域児童クラブ	日滝小学校構内	平成16. 4. 1	77	6
森上地域児童クラブ	森上小学校教室	平成17. 4. 1	71	4
日野地域児童クラブ	大字塩川158-2	〃	120	8
北相之島町児童クラブ	北相之島町内専用施設	昭和55. 12. 21	49	2
夏端町児童クラブ	夏端町内専用施設	昭和57. 4. 24	17	3
亀倉町児童クラブ	亀倉町内専用施設	昭和57. 12. 4	38	2
学童保育どんぐりクラブ	臥竜二丁目7-12	昭和54. 4. 1	38	4

13 学校給食センター

位置、面積 須坂市大字野辺1386-5 6,420.14㎡

建物延床面積 1,567.35㎡

沿 革

- 昭和48年2月 学校給食共同調理場設置研究委員会が発足
- 昭和50年11月 学校給食センター建設工事開始
- 昭和51年3月 学校給食センター施設完成
- 8月 学校給食センター竣工式
給食業務開始
第1回学校給食センター運営委員会開催
- 昭和56年4月 週2回米飯給食を実施
- 昭和58年7月 調理用ボイラー1基増設
- 昭和61年4月 小学校の低学年、高学年別献立を2小学校群別献立とする
市内全小学校の給食に箸使用を実施
- 6月 市内全校の汁椀食器の改善
- 8月 市内全中学校の給食に箸使用を実施
- 昭和62年8月 超高压洗浄機、焼物機、揚物機更新
- 昭和63年8月 週3回米飯給食を実施
- 平成元年2月 蒸気自動煮炊釜、サイノ目切機更新
- 7月 給食配送車2台更新

平成2年7月	給食配送車2台更新
平成3年3月	蒸気自動煮炊釜、野菜さいだん機更新
7月	給食配送車1台更新 ポリプロピレン製汁椀、菜皿整備
平成4年7月	給食配送車1台更新
平成5年3月	超高压洗浄機、球根皮むき機更新 学校給食センター啓発用ビデオ作成
平成6年2月	かくはん機2台更新
平成7年2月	調理用ボイラー1基更新
6月	スポットエアコン、合成調理機、フードスライサー更新
8月	超高压食器洗浄機更新
平成8年5月	スポットエアコン、球根皮むき機更新、牛乳保冷库（井上小学校）更新
6月	厨芥処理機更新
8月	業務用冷凍庫更新
平成9年6月	牛乳保冷库（須坂・小山・豊洲小学校）・球根皮むき機更新 合成調理機・フードスライサー
3月	蒸気回転釜・牛乳保冷库（日野・豊丘小学校）
平成10年8月	全自動煮炊釜更新 ポリプロピレン製汁椀・菜皿更新
平成11年5月	高速ミキサー更新 検収室用冷蔵庫新規
10月	微細目スクリーン更新 給食用お盆（エスタートレイ）更新
平成12年3月	増改築工事 洗浄室増築、調理室・下処理室床改修、調理室フード改修 食器洗浄システム（浸漬槽・自動供給装置・食器洗浄機）新規 缶洗浄システム（前処理機・食缶洗浄機）新規 器具類洗浄機更新、自動揚物機・自動焼物機更新 下処理室ドライ仕様（シンク・調理台）更新、カートイン蒸し器更新 洗浄室用ローラーコンベア新規
平成12年4月	献立を3コースから2コースに変更する。 給食費を市の一般会計に組み入れ、公金化を図る。
平成13年5月	防犯監視用センサー設置
8月	屋根改修工事 全自動煮炊釜更新
平成14年1月	ボイラー加熱管交換工事
8月	公共下水道接続工事
平成15年8月	食器消毒保管庫更新 蒸気回転釜更新
10月	給食用コンテナ更新
平成16年7月	食器（ボール）更新（ポリプロピレン製からCOP製へ）
11月	給食用コンテナ更新

平成17年 3 月	L型運搬車新規
平成17年 8 月	超高压洗浄機用高压水切り装置新規
10月	給食の主食にソフト麺導入（10月～3月まで月1回）
平成18年 8 月	食器(COP 製角ランチ皿)更新
	器具消毒保管機・蒸気回転釜・フードスライサー更新
10月	給食用コンテナ更新
平成19年 7 月	連絡車更新
8 月	真空冷却機新規
	多管式貫流ボイラー（1号）更新
12月	ボイラー加熱管交換工事
平成20年 1 月	球根皮剥機・野菜調理機更新
8 月	給食用お盆（FRP トレー）更新
平成21年 1 月	給食用コンテナ更新
7 月	自動揚物機
平成22年 8 月	ストレージタンク熱交換器交換工事
8 月	ボイラー室アスベスト除去工事
8 月	ドライ仕様移動台 1 台新規
9 月	高压洗浄機1台更新
平成23年 3 月	給食用コンテナ1台更新
3 月	洗濯機1台更新
8 月	給食用コンテナ4台更新
8 月	多管式貫流ボイラー（2号）更新
平成24年 7 月	測量調査、地質調査
8 月	ボイラー（1号）排ガス用エコマイザー修繕
1 月	さいの目切機1台更新
3 月	給食用コンテナ1台、移動式シンク2台、パンラック2台、ドライ式移動台1台更新
平成25年 5 月	2階調理員用トイレ修繕
5 月	サラダ用冷蔵庫購入
8 月	1階調理員用トイレ修繕
8 月	スラットコンベアー修繕
10月	高速度ミキサー1台更新、
11月	給食用コンテナ 1 台、移動式シンク 4 台、パンラック 2 台、ドライ式作業台 6 台更新、高速度ミキサー1台更新
平成26年 1 月	洗濯機1台更新
3 月	移動式スラーサーシンク 2 台、缶切機 1 台更新
3 月	デジタル式自動台秤 1 台更新
4 月	会議用長机14台、イス45台、イス用台車 2 台
6 月	中型自動台秤1台更新、洗濯機 1 台更新
9 月	下処理室消毒保管庫 1 台更新・洗浄室消毒保管庫 1 台新規
10月	ボイラー室給水管改修

12月 除雪機1台新規

平成28年 3月 ドライ式作業台 1 台、調理場用棚 1 台、給食用コンテナ1台新規

6月 グリストラップ改修

7月 冷蔵ショーケース 1 台新規
調理場手洗器増設 2 台、屋外配管修繕

8月 調理場用棚 1 台新規 コンテナ 2 台更新
多管式貫流ボイラー（1号）更新
食器洗浄機制御部入れ替え

8月～3月 （新）給食センター P F I 導入可能性調査、建設地 地質調査、測量調査
補償調査

11月 ボイラー貯湯槽減圧弁修理

12月 ボイラー脱気タンク交換修繕

平成29年 3月 フードスライサー 1 台更新、 給食用コンテナ 1 台新規

延べ給食数

（単位：食）

内 容	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
小学校	667,892	673,014	653,256	637,750	630,764	621,013	607,324	591,692
中学校	323,885	321,409	335,243	336,057	333,294	332,816	321,791	315,733
試 食	143	163	159	194	184	136	177	421
センター	7,330	9,094	8,937	8,908	8,742	8,385	8,165	8,367
計	999,250	1,003,680	997,595	982,909	972,984	962,350	937,457	916,213

（27年度年間給食日数212日、配送車所有7台・稼働台数6台、延1,252台）

1食当たり給食単価

（単位：円）

年度 内容	55	56	57・58	59～63	元・2	3～5	6～9	10～20	21～25	26～
小 学 校	170	182	189	195	202	215	230	240	260	272
中 学 校	205	220	228	235	244	261	275	285	305	318

会 議

運営委員会 2回

献立作成委員会 11回

V 子ども課

1 子育て支援事業

(1) すこやか相談事業

子どものすこやかな発育、発達を支援し、スムーズな就学につなげるために「すこやか相談事業」を平成 18 年度から実施している。対人関係や集団適応での能力の差が出てくる 5 歳児に着目し、保護者及び担任への事前調査をもとに、幼稚園・保育園・認定こども園での様子を巡回観察し、発達障がい疑われる児童及び保護者について適切な支援をしていく。また、あらゆる相談に応じることで、保護者及び幼稚園・保育園・認定こども園を支援していく。

ア 5 歳児巡回

① 対象者

須坂市に住民票がある平成 23 年 4 月 2 日～平成 24 年 4 月 1 日生まれの幼児（408 人）
 私立幼稚園（5 園・81 人）、私立保育園（4 園・63 人）、公立保育園（10 園・212 人）
 認定こども園（1 園・37 人）、管外幼稚園・保育園（8 園・15 人）

② スタッフ

すこやか相談コーディネータ・教育相談員・家庭児童相談員・作業療法士・保健師等

③ 実施内容

アンケート及び発達相談への対応状況（対象児 408 名）

	アンケート提出	発達相談記入数	対 応 方 法				
保護者	408 人 (100.0%)	100 人 (24.5%)	面談	電話	文書	その他	計
			2	93	5	0	100 人
保育士・教諭	408 人 (100.0%)	162 人 (31.7%)	巡回時対応 162 人				

相談内容（複数回答あり）

	項 目	件数 (件)	比率 (%)	備 考 (主な相談内容)
保護者	1 身体・健康面	26	17.2	発育の遅れ、持病
	2 対人・行動面	40	26.5	社会性、友だち関係、遊び
	3 言語・認知面	28	15.9	言語表出、言語理解、手先の巧緻
	4 食事面	11	7.3	好き嫌い、偏食、肥満
	5 しつけ	26	17.2	言葉遣い、ほめ方・叱り方
	6 その他	24	15.9	癖など
	計	167	100.0	
保育士 教 諭	1 身体・健康面	39	7.0	発育の遅れ、持病
	2 対人・行動面	282	50.8	社会性、友だち関係、遊び
	3 言語・認知面	152	27.4	言語表出、言語理解、手先の巧緻
	4 食事面	12	2.2	好き嫌い、偏食、肥満
	5 家庭環境	58	10.4	家庭環境、養育面の心配
	6 その他	12	2.2	発達状況など
	計	555	100.0	

- ④ 巡回観察対象児童 184 人 (45.1%)
- ⑤ 巡回状況 62 回 (21 園)
- ⑥ 個別相談状況 22 人
- ⑦ 29 年度要継続支援とした児童の状況 72 人 (17.6%)

主な該当項目	人数(人)	割合(%)
1 理解・認知・操作	20	27.8
2 対人・行動	31	43.0
3 言語	4	5.6
4 食事・肥満	2	2.8
5 専門機関療育・障がい	8	11.1
6 家庭環境	2	2.8
7 発達状況・その他	5	6.9
計	72	100.0

イ 6 歳児巡回

- ① 対象児童 78 人
 - ・ 27 年度 5 歳児すこやか相談事業等で継続支援・観察が必要と判断した 6 歳児 72 人
 - ・ 6 歳児巡回を実施する中で支援観察が必要と判断した児童 6 人
- ② 巡回状況 62 回 (21 園)
- ③ 個別相談状況
 - ・ 市就学指導教育相談 3 人
 - 特別支援学校、特別支援学級 (知的障害、自閉症、難聴)
- ④ 小学校入学後、個別配慮・支援、継続観察の必要な個人票を作成し、学校との連携を図ることが必要とした児童 25 人

主な該当項目	人数(人)	割合(%)
1 理解・認知・操作	11	44.0
2 対人・行動	6	24.0
3 言語	3	12.0
4 食事・肥満	0	0
5 障がい (知的・身体・発達等)	5	20.0
6 家庭環境	0	0
計	25	100.0

ウ 小学校巡回

小学校入学後、個別配慮・支援、継続観察の必要な児童の個人票を作成し、学校との連携を図った。

- ①巡回観察対象児童 50 人
- ②巡回観察状況 11 回 (11 校)

エ すこやか教室

継続した支援を必要とする児童と保護者のための療育事業として、すこやか教室を実施した。

組 名	対象児童	開催期日・回数	対象児童数(人)	延参加人数(人)
ほし組	7歳児(小1)	5月～8月 4回	5	親18子18
おひさま組	6歳児(年長)	5月～2月 10回	9	親49子49
いるか組	5歳児(年中)	10月～2月 5回	7	親30子29

オ 発達障がいに関する講演会

- ① 開催期日 6月21日
- ② 講 演 「今、大切にしたいもの」
- ③ 講 師 富岡 由紀子さん(NPO法人 STARS 看護師)
- ④ 場 所 保健センター
- ⑤ 参加人数 公・私立保育園保育士、幼稚園教諭、児童センター厚生員、保健師 162人

(2) 家庭児童相談

家庭における人間関係の健全化及び児童養育の適正化等、家庭児童福祉の向上を図るため、児童相談員による専門的な相談業務を行う。

相談内容別件数(平成28年度)

(件)

相 談	養護相談		保 健 相 談	障 害 相 談						非 行		育 成 相 談				そ の 他	合 計
	児 童 虐 待	そ の 他		肢 体 不 自 由	視 聴 覚	言 語 発 達	重 症 心 身	知 的 障 害	発 達 障 害 等	ぐ 犯 行 為 等	触 法 行 為 等	性 格 行 動	不 登 校	適 正 相 談	育 児 ・ し っ け		
継 続	22	20	1	2	2	17	0	3	7	0	25	0	0	0	0	99	22
新 規	6	7	3	0	0	13	3	1	0	0	23	0	0	11	0	67	6
合 計	28	27	4	2	2	30	3	4	7	0	48	0	0	11	0	166	28

(3) 須坂市虐待被害者等支援対策連絡協議会

ア 児童虐待実務担当者会議の開催

開催期日 6月28日、10月14日、2月14日

検討件数 延137件

イ 児童虐待個別ケース検討会議(随時)

開催回数 12回、対象児童 18人

(4) 児童虐待防止対策事業

公立保育園の年長児童とその保護者を対象に研修プログラムを導入し、児童虐待防止強化を図る。

ア CAP教職員ワークショップ 2回開催

4月9日 81人 4月12日 116人

イ CAP保護者（おとな）ワークショップ 3回開催

5月17日 38人 5月24日 85人 6月2日 51人

ウ CAP子どもワークショップ（就学前プログラム）

4月～7月 各園（公立保育園10園、私立保育園2園、認定こども園1園）で開催
223人受講

(5) ブックスタート事業

誕生の記念として、3か月児健診時に6冊の中から1冊の絵本をプレゼントし、絵本を通して親子のふれあいを深める機会を提供する。

絵本配布冊数（平成28年度）

（3か月児健診絵本配布対象者 354人）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健診時 受取り	25	22	29	32	28	28	26	28	37	28	27	30	340
図書館 子ども課 受取り	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	5
計	25	23	29	32	29	28	27	28	38	29	27	30	345

(6) 須坂市子ども・子育て会議の開催

子ども・子育て支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、子ども・子育て支援法第77条第1項の規定に基づく須坂市子ども・子育て会議を開催した。

委員数 17人

開催期日 第1回 8月29日、第2回 12月7日

(7) 子育て支援センター

子育て家庭に対する育児不安等についての指導、子育てサークル等への支援などを通して、地域の子育て家庭に対する育児支援を行うと共に、地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図る。

ア 施設の概要

沿革

開設 平成13年4月 須坂市立高甫保育園内に「須坂市子育て支援センター」として事業を開設

民生部福祉課所管

移設 平成17年4月 中央児童センター（須坂市大字須坂1212番地1）内に併設となる

イ 事業実施状況

区分	開所 日数 (日)	親 子			そ の 他	子育て広場の支援				
		親	子	計		回数 (回)	親	子	計	場 所
4 月	25	718	937	1,655	140	1	2	3	5	豊洲地域公民館
5 月	23	620	771	1,391	147	1	4	5	9	井上地域公民館
6 月	26	771	977	1,784	172	1	1	1	2	豊洲地域公民館
7 月	25	823	1,083	1,906	129	3	24	27	51	井上、高甫地域公民館
8 月	26	679	889	1,568	153	2	7	9	16	高甫、豊洲地域公民館
9 月	24	811	1,014	1,825	176	2	5	5	10	高甫、豊洲地域公民館
10 月	25	759	985	1,744	158	2	8	9	17	高甫、豊洲地域公民館
11 月	24	714	916	1,630	212	2	12	13	25	高甫、豊洲地域公民館
12 月	23	571	692	1,263	76	3	20	25	45	大谷町研修センター、 井上、豊洲地域公民館
1 月	23	426	553	979	106	0	0	0	0	
2 月	23	642	829	1,471	93	1	2	3	5	豊洲地域公民館
3 月	26	603	783	1,386	75	3	24	25	49	井上、高甫、豊洲地域 公民館
計	293	8,137	10,429	18,566	1,637	21	109	125	234	

ウ 子育てミニ講座の開催

開催期日	内 容	参加数 (人)
5 月 18 日	歯科指導	親 12 子 22
6 月 3 日	太極拳	親 6 子 6
6 月 27 日	赤ちゃんマッサージ	親 20 子 20
7 月 1 日	音楽あそび	親 27 子 30
7 月 15 日	乳幼児救急看護法	親 20 子 21
7 月 21 日	小児の感染症と予防接種	親 5
7 月 24 日	パネルシアター	親 23 子 28
8 月 29 日	ピアノ・クラリネットコンサート	親 33 子 41
9 月 5 日	メセナの風コンサート	親 52 子 63
10 月 12 日	歯科指導	親 12 子 12
11 月 4 日	親子運動遊び	親 19 子 26
11 月 17 日	乳幼児救急看護法	親 19 子 22

11月28日	赤ちゃんマッサージ	親 23 子 23
11月29日	小児の感染症と予防接種	親 8
12月7日	クリスマスコンサート	親 34 子 41
2月17日	親子運動遊び	親 31 子 38
2月27日	赤ちゃんマッサージ	親 19 子 19
3月23日	バイオリンコンサート	親 33 子 44
計		親 396 子 456

エ すくすく育児ランド

親であることの自覚と責任を持ち育児に必要な知識を学ぶため、すくすく育児ランドを開催した。

区分	開催期日	内 容	参加数 親 (人)	託児数 (人)
前期	5月24日	講話「絵本はこころの栄養」	19	22
	5月31日	講話「親の心のセルフケア」	25	26
	6月7日	「ママの健康を見直そう」	19	20
	6月14日	「子どもの栄養と食育」	21	20
	6月23日	グループワーク「皆でワイワイ 話そう」	18	19
	計		102	107
後期	10月25日	講話「親の心のセルフケア」	25	21
	11月1日	「子どもの栄養と食育」	19	19
	11月8日	「ママの健康を見直そう」	17	17
	11月15日	講話「絵本はこころの栄養」	20	20
	12月22日	グループワーク「皆でワイワイ 話そう」	14	14
	計		95	94

オ お父さんの育児講座（すくすくパパ）

夫婦が共に子育てをする土壌の醸成と、父親の家庭育児力の向上を目指したセミナーを開催した。

開催日	内 容	参加数 (人)
5月14日	親子で臥竜山を散策しよう	父 6 母 3 子 8
7月3日	子育てワークショップで遊ぼう	
10月22日	パパの料理教室	父 5 母 5 子 9

カ ピアママサロン

子育てという同じ境遇の母親が、子育てについて共に考え、思いや経験を共有しあう中からサポートしあう関係を作り上げ、育児の孤立感やストレスの軽減を図るため、ピアママサロンを開催した。

開催期日	内 容	参加数 親 (人)	託児数 (人)
8月30日	開校式・オリエンテーション・グランドルール	24	25

開催期日	内 容	参加数 親（人）	託児数 （人）
9 月 6 日	ピアカウンセリング・話を聞くって？・8つの誓約	25	27
9 月 13 日	私の4つの窓・傾聴とは？	22	23
9 月 23 日	私は何の花・あなたは何の花・私の夢を聞いて？	24	25
10 月 4 日	前回の振り返り・ワイワイ会議・閉校式	24	29
計		119	129

キ 中高生と赤ちゃんのふれあい事業

次代の親となる中学生・高校生が赤ちゃんと接し、子育て中の母親の話を聞くことで、命の大切さや、妊娠や出産について正しい知識をもち、結婚や親となることについて考えるきっかけをつくる。また、母親が子育てを振り返ったり我が子の将来に期待をもつため、ふれあい事業を実施した。

- ① 事前講習会 3月11日 参加者14人（中学生4人、高校生10人）
- ② 赤ちゃんとのふれあい 3月23日 参加者14人（中学生4人、高校生10人）、親子13組

ク すくすくホーム

親も祖父母もともに楽しく子育て・孫育てができるよう、育児に対する思いを話し、分担して子育てをするコツを学ぶため、講座を開催した。

- ①開催日 10月18日
- ②内 容 講義「おいしい食事とおやつですくすく育てよう
グループワーク
- ③参加者 参加者数 親15人 祖父母10人

ケ シルバーさんとの交流（シルバー人材センターと共催）

農作業や昔遊びを通してふれあう中で、お年寄りが持つ豊富な経験や知識を参考とし、子育てがより充実したものとなるよう交流を行った。

- ① 開催日 5回 4月14日、7月6日、8月7日、11月16日、1月18日
- ② 参加者 延参加者数 親83人 子110人 シルバー人材センター会員86人

(8) ファミリー・サポート・センター事業

子育ての援助を行いたい者と、援助を受けたい者が会員として登録して実施する、子育ての相互援助活動を支援した。

ア 入会説明・登録 随時（子育て支援センターにて受付）

イ 育児・サポート講習会

内容	期日	参加数（人）
小児の感染症と予防接種（須坂病院小児科医師）	7月21日（木）	2
	11月29日（火）	1
子どもの食事と栄養（子ども課管理栄養士）	7月22日（金）	2
	11月11日（金）	1

乳幼児の救急看護法(須坂病院看護師)	7月15日(金)	2
	11月17日(木)	1
保育のこころと遊び(子育て支援センター所長)	11月11日(金)	1

ウ ファミリー・サポート・センター運営協議会

事業説明と今後の課題について協議した。

2月23日 出席者7人(会員代表、母親クラブ代表、子育てに係わる団体代表)

エ レベルアップ講習会、提供会員交流会

日頃の活動の様子などから見えてくる課題等の意見交換を行った。

2月9日 参加者2人

オ 登録状況(平成29年3月31日現在) (人)

依頼会員数	提供会員数	両方会員数	計
361	68	23	452

(9) 親子通園施設くれよん (旧名称: 心身障害児母子通園訓練施設「はげみ園」)

就学前の心身に障がいのある児童及び発達に支援を必要とする児童が保護者とともに通園し、機能訓練及び生活指導を通して生活に必要な力を向上させるとともに、その保護者に対して相談に応じる等の支援を行うことで児童の育成支援を図る。

ア 施設の概要 福祉会館内に併設

沿革

開設	昭和51年4月	須坂市心身障害児母子通園訓練施設として、中央児童館(須坂市大字須坂1212番地1)内に開設 民生部福祉課所管 中央児童館にて入園式举行 園児23名
	昭和51年10月	「はげみ園」開園式举行
	昭和54年12月	はげみ園増築工事完了
	昭和58年8~11月	はげみ園・はげみ会を含む身障6団体 福祉会館建設につき市へ陳情
移設	昭和61年4月	須坂市福祉会館(須坂市大字須坂1218番地)開館にともない「はげみ園」移設
	平成18年4月	教育委員会子ども課に所管替え
	平成26年4月	名称を「須坂市親子通園施設くれよん」に改める

利用状況(平成28年度) (人)

児童数		年齢区分	
		3歳未満児	3歳以上児
在籍人数	6	6	0
利用延人数	638	625	13

訓練の状況（平成 28 年度）

	訓練回数（回）	延人数（人）
作業療法	7	26
音楽療法	12	507

2 保育園・幼稚園・認定こども園

(1) 保育園

（平成28年 4 月 1 日現在）

保育園名	公私別	所在地	園長名	定員(人)	園児数(人)
須坂東部保育園	公立	大字日滝 1185 番地 1	松澤みさ子	150	142
須坂保育園	公立	大字小山 1274 番地	丸山 克江	120	120
日野保育園	公立	大字塩川188番地 9	宮澤久美子	150	130
高甫保育園	公立	大字野辺 1097 番地 1	小林あつ子	90	79
井上保育園	公立	大字幸高82番地 2	本多 久子	120	103
北旭ヶ丘保育園	公立	大字相之島711番地 2	依田 恵子	90	88
須坂千曲保育園	公立	大字中島1265番地	吉澤はるみ	60	62
豊丘保育園	公立	大字豊丘2440番地 1	片桐 一江	60	36
相之島保育園	公立	大字相之島391番地1	平林 直子	60	54
仁礼保育園	公立	大字仁礼 7 番地13	真島 貞子	120	98
上高井保育園	私立	大字須坂1355番地 1	太田 寿子	60	57
豊洲保育園	私立	大字小河原2405番地 1	浅井 杉子	60	50
みつばち保育園	私立	大字須坂1211番地 5	小林 庸高	80	76
やすらぎ保育園	私立	大字日滝2887番地 1	牧 和枝	30	25
さかた山風の子保育園	私立	大字坂田218番地2	片山 康江	90	97
計 15 園				1,340	1,217

(2) 認定こども園

（平成28年 5 月 1 日現在）

園名	公私別	所在地	園長名	定員(人)		園児数(人)
マリアこども園	私立	大字須坂1092番地	安藤 誠	保育園	60	58
				幼稚園	90	80
計 1 園				150		138

(3) 幼稚園

(平成28年5月1日現在)

園 名	公私別	所 在 地	園 長 名	園 児 数 (人)	備 考
旭ヶ丘幼稚園	私 立	旭ヶ丘町	浅井 宏昭	5	
泉園幼稚園	私 立	常盤町	清水 幸子	30	
須坂双葉幼稚園	私 立	墨坂四丁目	垂澤 恵子	117	
山びこ幼稚園	私 立	臥竜四丁目	神林 典子	50	
豊 幼 稚 園	私 立	東 横 町	関 二司光	57	
計 5園				259	

(4) 保育園給食

ア 保育園給食のねらい

- ① 子どもの心身の健全な発育・発達・健康の保持を図る。
- ② 食生活に対する理解と望ましい食習慣を養う。
- ③ 保育園での生活を豊かにし、明るい人間関係を養う。
- ④ 保育園給食を通して、児童の家庭及び地域社会の食生活改善に寄与する。

イ 食育活動の推進について

食育を“毎日の園生活に根づいたもの”と位置づけ、魅力ある食育を推進し子どもの健全な心身の成長を図ることを目的とし、様々な食に関わる体験から“食”についての興味を広げ食べる意欲を育てる。

- ① 毎日の給食を媒体とし「楽しい食事年間計画」に基づいた食育活動の実施。(調理技術員との食事、給食のサンプル展示、保育園のもりもり給食ブログ、栄養士食育指導等)
- ② 野菜の栽培、収穫体験の実施
- ③ 収穫祭、親子クッキング、給食の手伝い等の調理活動の実施
- ④ 祖父母など異世代との交流活動を通し、伝統食・郷土料理など食文化について知る。
- ⑤ 給食活動、食育体験を通し、食に関わる興味を広げる。

ウ 給食運営について

① 衛生管理

(ア) 保育園給食安全管理マニュアルに沿った衛生管理の実施

(イ) 保育園職員保菌検査の実施(赤痢菌・サルモネラ菌・大腸菌群・大腸菌O-157)

調理技術員及び乳児担当保育士 55人×20回

代替調理技術員、栄養士及び園長 31人×12回

乳児担当以外の保育士 130人×2回

代替保育士 20人×2回

(ウ) 食材検査

・サンコリテップによる簡易検査の実施(月1回)

・細菌検査実施業者による食材細菌検査(一般細菌・大腸菌群・大腸菌O-157) 年2回

- ② 栄養管理 身体状況調査・主食量調査・食生活アンケート等に基づき栄養計画の作成、実施
- ③ 献立会議 各園給食担当者が参加。献立内容及び調理工程等の検討(月1回)
- ④ その他 アレルギー除去食の対応、肥満児指導、食事相談の実施

年間給食実施数

(単位:食)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
給食実施食数	282,671	283,749	278,746	281,617	283,373
給食実施数(園児のみ)	235,180	234,189	229,192	230,933	229,436

1食当たり給食単価

(単位:円)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
3歳未満児	398	399	411	412	412
3歳以上児	241	242	249	249	249

(5) 保育園の施設整備状況

年 度	整 備 内 容	事 業 費 (円)
平成 22 年度	H23. 3. 31 須坂南保育園閉園 ※ H23. 4. 1 より民間活力導入 (福)わらべ福祉会「さかた山 風の子保育園開園」	私立保育所施設整備事業補助金 158,897,000
	仁礼・夏端統合保育園実施設計業務委託	11,550,000
平成 23 年度	仁礼・夏端統合保育園建設工事 木造平屋建て 定員 120 人 建築面積 1,332.10 m ² 延床面積 1,311.30 m ²	建築主体 186,900,000 電気設備 43,302,000 機械設備 43,050,000 監理業務 4,935,000
	須坂保育園設計業務委託	11,518,500
	高甫保育園設計業務委託	8,752,800
	須坂保育園建設工事 (H24 への繰越し事業) 一部鉄筋コンクリート造平屋建て 定員 120 人	前払金 128,440,000 (繰越明許費 200,000,000)
	高甫保育園建設工事 (H24 への繰越し事業) 木造平屋建て 定員 90 人	前払金 0 (繰越明許費 280,000,000)
平成 24 年度	須坂保育園建築主体工事 (繰越明許) 木造 (一部鉄筋コンクリート造、鉄骨造) 平屋建て 定員 120 人 (23 年度からの繰越) 建築面積 1,179.58 m ² 、延床面積 1,104.93 m ²	建築主体 141,310,000 電気設備 28,750,000 機械設備 29,940,000 監理業務 5,040,000
	高甫保育園建築主体工事 (繰越明許) 木造平屋建て 定員 90 人 建築面積 1,047.16 m ² 、延床面積 915.75 m ²	建築主体 163,760,100 電気設備 40,110,000 機械設備 48,300,000 監理業務 4,483,500
	相之島保育園設計業務委託	10,055,850
	須坂千曲保育園設計業務委託	9,273,600
	相之島保育園建築主体工事 木造平屋建て 定員 60 人 建築面積 919.77 m ² 、延床面積 797.10 m ²	建築主体 170,940,000 電気設備 38,713,500 機械設備 46,389,000

平成 25 年度		監理業務	4,200,000
	須坂千曲保育園建設工事（H26 への繰越し事業） 木造平屋建て 定員 60 人 建築面積 915.04 m ² 延床面積 816.76 m ²	建築主体	70,140,000
		電気設備	13,385,000
		機械設備	0
		監理業務	0
		（繰越し明許費）181,285,000	
	北旭ヶ丘保育園建設工事（H26 への繰越し事業） 木造平屋建て 定員 90 人 建築面積 1,123.75 m ² 延床面積 926.13 m ²	解体工事	5,085,000
		建築主体	0
		（繰越し明許費 189,915,000）	
		前払金	0
		（繰越し明許費 390,000,000）	
	北旭ヶ丘保育園設計業務委託		15,561,000
	井上保育園設計業務委託		12,468,750
	豊丘保育園設計業務委託		7,570,500
平成 26 年度	須坂千曲保育園建築工事（H25 からの繰越し事業） 木造平屋建て 定員 60 人 建築面積 915.04 m ² 延床面積 816.76 m ²	建築主体	105,210,000
		電気設備	20,110,000
		機械設備	51,450,000
		監理業務	4,515,000
	北旭ヶ丘保育園建築工事（H25 からの繰越し事業） 木造平屋建て 定員 90 人 建築面積 1,123.75 m ² 、延床面積 908.79 m ²	建築主体	175,824,000
		電気設備	38,340,000
		機械設備	97,200,000
		監理業務	4,968,000
	井上保育園建築工事（H25 からの繰越し事業） 木造平屋建て 定員 120 人 建築面積 1,280.44 m ² 、延床面積 1,152.48 m ²	建築主体	264,600,000
		電気設備	38,340,000
		機械設備	79,920,000
		監理業務	5,400,000
平成 27 年度	豊丘保育園建築工事（H26 からの繰越し事業） 木造平屋建て 定員 60 人 建築面積 722.15 m ² 、延床面積 622.74 m ²	建築主体	163,080,000
		電気設備	23,220,000
		機械設備	61,020,000
		監理業務	4,428,000

3 児童手当等の支給

(1) 児童手当

法令に基づき、児童を養育している方に手当を支給することにより、家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資する。

【平成 28 年度の支給状況】

平成 28 年 2 月～平成 29 年 1 月支給分

0歳から3歳未満の子ども	月額 15,000 円を支給
3歳以上小学校終了前までの子ども	月額 10,000 円を支給（第3子以降は 15,000 円）
小学校終了後中学校終了前までの子ども	月額 10,000 円を支給
特例給付	月額 5,000 円を支給（一律）

区 分	月 額 区 分 (円)	延 児 童 数 (人)	支 給 金 額 (円)
0 歳 ～ 3 歳 未 満	15,000	11,726	175,890,000
3歳以上小学校修了前(第1・2子) (第3子以降)	10,000	38,712	387,120,000
	15,000	5,925	88,875,000
中 学 校 修 了 前	10,000	16,103	161,030,000
特 例 給 付	5,000	2,936	14,680,000
計	—	75,402	827,595,000

支給額合計 827,595,000 円

(2) 児童扶養手当

平成 28 年度の支給状況

- ・所得により算定された金額（平成 29 年 3 月 31 日現在 月額 9,990 円から月額 42,330 円）
- ・第 2 子加算 5,000 円（平成 28 年 7 月まで） 5,000 円から 10,000 円（平成 28 年 8 月から）
- ・第 3 子以上加算 3,000 円（平成 28 年 7 月まで） 3,000 円から 6,000 円（平成 28 年 8 月から）
- ・延受給者数 4,971 人 187,782,380 円

(3) 特別児童扶養手当（国委託事業）

平成 28 年度の受給権者数 116 人（平成 28 年 12 月 31 日現在）

4 児童・青少年健全育成事業

(1) 都市宣言

未来を担う児童・青少年育成都市宣言

（平成12年12月14日宣言）

明日の須坂市を担う児童・青少年が心身ともに健やかに、たくましく、美しく成長することは市民すべての願いである。

この願いを実現し、児童・青少年の輝かしい未来をひらくために、すべての大人が児童・青少年の先達としてその姿勢を正し、なによりも児童・青少年の生命と人権を擁護し尊重するとともに、児童・青少年の問題について一層の関心を高め、家庭・学校・地域が一体となり、市民の心と英知をあつめ、総力をあげて未来を担う児童・青少年の育成に努めなければならない。

よって、21世紀の新しい時代、決意も新たに須坂市を「未来を担う児童・青少年育成都市」とすることを宣言する。

(2) 未来を担う人づくり運動

今日の急激な社会構造の変化や地域連帯感の低下等から児童青少年をとりまく社会環境も悪化し、少年非行及び被害は極めて憂慮すべき状態にある。

このようなときにあたり、未来を担う児童青少年を「たくましく心豊かに」育成することは、

現代社会に生きるものの責務である。平成12年12月14日制定の「未来を担う児童・青少年育成都市宣言」を受けて次代を担う児童青少年の健全育成をより幅広く展開するため、地域社会、家庭、学校、行政の各分野における責任と役割を自覚しその使命を果たすため市民総ぐるみで「未来を担う人づくり運動」を積極的に取り組むものである。

(3) **児童青少年総合対策本部**

昭和40年、児童青少年の健全育成に関する総合的な計画を樹立し、関係機関、団体と緊密に連携を図り健全育成事業を推進するため、市長を本部長とし、副市長、教育長を副本部長、本部員をもって構成した総合的対策本部を設置して、実践活動の推進を図り現在に至る。

(4) **子育てセミナー（家庭教育講座）**

昭和55年「未来を担う人づくり運動」の一環として、母親大学（家庭教育講座）を発足させた。平成9年度より、子育てセミナーと改称し、親の責任と役割の自覚を高めると共に地域で地域の子育てをねらいとし、子どもの発達段階に応じた家庭教育や地域社会における子育てのあり方を学習し、明るい家庭・明るい地域づくりの基盤に資するため、児童青少年総合対策本部が主体となり、育成会・幼稚園・保育園と協力して各町、各園で開催している。

(5) **子どもスポーツフェスティバル**

平成27年度まで50回にわたり毎年開催してきた少年球技大会に代わるものとして、スポーツの楽しさをあじわい、互いに交流を深めるとともに、心美しい人間性とたくましい身体を作ることが目的に、ドッジビー交流会を開催した。初年度となる平成28年度は、39町（44チーム）の低学年から高学年まで664人が参加し交流した。

なお、平成27年度まで開催してきた少年球技大会（ソフトボール昭和41年～、ドッジボール昭和49年～）は、親しむスポーツの多様性やクラブ、習い事、塾など子どもたちの休日の過ごし方の変化による参加者の減少が課題であった。

(6) **姉妹都市三浦市との親善訪問交歓**

昭和49年4月23日、市制施行20周年記念事業の一環として、神奈川県三浦市と姉妹都市が提携され、その事業のひとつとして毎年夏休み中に両市の児童・生徒が、お互いに訪問しあい親善交流を深めることを目的に開催している。43回目の平成28年度は、須坂市から19人、三浦市から13人が参加し、それぞれ訪問交歓した。

(7) **育成会活動**

昭和40年、児童青少年の健全育成を目的として市内51町に育成会を設置し、その後、東村の合併や新興団地の造成により、現在は市内68町に育成会が設置されている。また、平成28年度は各町育成会活動交付金として7,454千円を交付した。

(8) **児童青少年育成センター**

昭和42年、児童青少年総合対策本部の実施機関として、青少年の健全育成に関係のある機関団体並びに民間有識者の協力により、主として街頭巡視活動を通じて愛護指導、早期補導、環境浄

化、情報活動等を行っている。各小学校単位にブロックを構成しており、平成28年度は育成委員83人が活動した。

(9) **運動施設整備事業**

地域における児童青少年の健全育成を推進するため、育成会等の自主活動により運動施設を設置する事業経費に対し補助金を交付する。

(10) **農業小学校運営事業**

子どもたちの健やかな成長に欠かせない、自然・体験活動不足の現状を考慮し、子どもたちがたくましい精神力・創造力等を身につけることを願い、総合的・自主的な体験活動の場として、平成17年度の開校以来、毎年、「信州すざか農業小学校」を開いている。

本事業では、異年齢の子どもたちや保護者、地域の大人(農家先生約20名)とのふれあいをとおし、相互の仲間づくりや世代間交流、地域連帯感を養うとともに、地域の文化にふれることにより、ふるさと須坂の良さを再発見する手助けをしている。

開校から12年目の平成28年度は、4月から1月にかけて16回開催(月1～2回、土・日・祝日の午前中)し、農作業や遠足、そば打ち、餅つき等の豊富なプログラムに21人の児童が取り組み、開校以来延べ633人の修了者を輩出した。

Ⅵ 生涯学習スポーツ課

1 沿 革

- 昭和40年 児童青少年総合対策本部が発足・各町単位に育成会を設置
- 昭和41年 少年球技大会がはじまる。
- 昭和42年 企画課内に児童青少年育成センターを設置（44年に教育委員会に移管）
- 昭和43年 花いっぱいコンクールがはじまる。
- 昭和44年 文化財保護条例を制定・社会教育委員を設置
- 昭和46年 教育委員会が課制となり社会教育課が新設される。
- 昭和47年 キッチンダイヤル始める。（昭和52年廃止）
- 昭和49年 新生活運動推進委員会が発足
神奈川県三浦市と姉妹都市が提携され、小中学生の親善訪問がはじまる。
- 昭和52年 体育課新設
- 昭和55年 「未来を担う人づくり運動」の展開
母親大学（家庭教育講座）の開講（昭和57年から母親、父親大学と改称）
児童青少年育成市民会議の発足・婦人問題懇談会の発足
- 昭和58年 文化財調査委員会の設置
- 昭和59年 社会教育課内に婦人係設置・文化財取得基金の設置
文化財保護条例を全部改正し文化財の保存及び活用に関する条例を制定する。
- 昭和61年 須坂市指定文化財として新たに9件指定する。
- 昭和62年 市内の祭屋台を一斉に公開展示する。
- 昭和63年 須坂市ミニ博物館設置事業補助金交付要綱を制定する。
社会教育課内に文化施設建設係設置
- 平成元年 文化施設建設係を文化施設建設室とする。
須坂市指定文化財として新たに10件指定する。
- 平成2年 婦人問題庁内連絡会の設置
- 平成3年 社会教育課内に文化係設置・文化施設建設室を廃止した。
須坂市指定文化財として新たに8件指定する。
- 平成4年 女性行動計画推進委員会設置・女性行動計画推進庁内連絡会設置・生涯学習推進研究委員会の設置
須坂市指定文化財として新たに1件指定する。
- 平成5年 社会教育課に生涯学習室を設置・生涯学習推進委員会設置
女性プラン推進市民会議設置・婦人係を女性係とする。
須坂市生涯学習基本構想を策定
須坂市指定文化財として新たに2件指定する。
- 平成6年 須坂市指定文化財として新たに5件指定する。
- 平成7年 生涯学習推進市民会議設置・社会教育課に女性室を設置。生涯学習室を公民館内に移設
須坂市指定文化財として新たに3件指定する。
- 平成9年 社会教育課を生涯学習課に、生涯学習室を生涯学習推進センターとする。
家庭教育講座「母親・父親大学」を「子育てセミナー」に改称する。

- 須坂市指定文化財として新たに2件指定する。
- 平成10年 生涯学習推進研究委員会を廃止。
生涯学習推進委員会を廃止。
生涯学習まちづくり庁内推進委員会設置。
- 平成11年 ガイドセンターを改修し、シルキープラザを設置する。
岩波書店、信濃毎日新聞社の協力により信州岩波講座を開講する。
生涯学習推進員設置。
- 平成12年 未来を担う児童・青少年育成都市を宣言する。
須坂市指定文化財として新たに2件指定する。
- 平成13年 すざか女性未来館を所管する。
- 平成14年 須坂市生涯学習推進協議会を設置
- 平成17年 勤労青少年ホーム創造の家を所管する。
- 平成18年 青少年係を新設の子ども課に移し、生涯学習課と体育課を統合して生涯学習係、文化財係
及び体育振興係の3係とし、生涯学習体育課とする。
峰の原高原自然体験センターを所管する。
須坂市指定文化財として新たに1件指定する。
- 平成19年 須坂市旧上高井郡役所を所管する。
須坂市指定文化財として新たに3件指定する。
- 平成20年 須坂市指定文化財として新たに2件指定する。
- 平成21年 機構改革により、生涯学習部門を市長部局へ移管。文化財保護・図書館・博物館業務及び
学校施設開放業務は、市長部局補助執行となる。
須坂市旧上高井郡役所を公民館の所管とする。
生涯学習体育課を、生涯学習スポーツ課とし、体育振興係をスポーツ振興係とする。
須坂市指定文化財として新たに2件指定する。
- 平成22年 須坂市子ども読書活動推進計画を策定する。
峰の原高原自然体験センターを廃止する。
須坂市指定文化財として新たに8件指定する。
- 平成23年 文化芸術振興ビジョンを策定する。
すざか子ども読書ちゃれんじを開始する。
ふれあい館まゆぐら2階に須坂市立博物館まゆぐら分館を設置。
須坂市指定文化財として新たに11件指定する。
- 平成24年 須坂市指定文化財を1件解除し、新たに1件指定する。
- 平成25年 須坂市指定文化財として新たに1件指定する。
市内の文化財を紹介するウェブサイト「信州須坂のおたから」を開設する。
- 平成26年 須坂市指定文化財を1件解除する。
- 平成27年 須坂市指定文化財として新たに1件指定する。
- 平成28年 新たに国指定文化財が1件指定され、それに伴い須坂市指定文化財を1件解除する。

2 生涯学習の推進

社会における情報化、国際化、高齢化の進展に対応し、人々は新しい知識や技術を継続的に学習

する必要が求められている。

さらに、市民の生活水準の向上、高学歴化、週休2日制の導入に伴う自由時間の増大等を背景に、生きがいを求める市民の価値観は、多様化してきている。

この様な社会環境の変化に伴い、教育に対する人々の要求や学習活動も極めて多岐多様に及んでいる。

須坂市では、平成5年3月に生涯学習基本構想を策定し、「豊かな心と、生きがいある人生の実現一心豊かな人づくり、まちづくり」を目指して、いつでも、どこでも、だれでも、学び活動できるような学習環境の整備・充実を図りながら生涯学習の推進に努める。

(1) 生涯学習の啓発

「生涯学習推進センターだより」の発行及び「生涯学習市民のつどい」の開催等により、生涯学習の啓発・普及に努める。

(2) 生涯学習情報の収集及び提供

「まなびーず情報」を発行し、生涯学習情報の提供に努める。

(3) 生涯学習相談

随時、市民の学習相談に応じる。

(4) 生涯学習講座の開催

市民一人ひとりの生きがいの充実と郷土に誇りと愛着をもってまちづくりをすすめるため、ふるさと須坂を学習材とし体験的・実践的に学ぶ「生涯学習すざか学舎」を開講する。

(5) 生涯学習指導者の養成及び研修

公益信託駒澤嘉須坂生涯学習振興基金の運用を受け、文部科学省認定社会通信教育「生涯学習指導者養成講座／ボランティアコース」の受講者を支援する。

また、須坂市の生涯学習活動の推進役である生涯学習推進員の意識と資質向上を図る。

(6) 生涯学習ボランティアの支援

須坂市生涯学習基本構想が掲げる「豊かな心と生きがいのある人生の実現～心豊かな人づくり、まちづくり」という基本的な目標に基づき、須坂市生涯学習ボランティアネットワークを支援する。

(7) 生涯学習によるまちづくりの推進

市民が市政に関する理解を深め、市のまちづくりの課題等に関する知識を習得する講座のほか、市民が持つ技能技術を活かす講座、地元企業の技術や製品が学べる工場見学の講座など生涯学習によるまちづくりの推進に寄与するため、『生涯学習まちづくり出前講座』の一層の充実と活用を推進する。

また、市民に須坂市の自然・歴史・文化などの素晴らしさを再発見していただくため、市内見学「まなび一号」（ふるさと須坂お宝発見コース）の運行及び「まなび一隊」（蔵の町並み巡りコース）を実施する。

(8) 関係機関・団体との連携と調整

生涯学習関連施設（講座等）の総合的な調整を図るため、関係機関・団体との連携及び調整に努める。

(9) 生涯学習推進体制

生涯学習推進員と生涯学習まちづくり庁内推進委員会による施策展開を進め、生涯学習施策の企画運営に努める。

3 文化財保護

(1) 基本方針

指定文化財を「須坂市のおたから」として、市民が親しみやすく接することができるものにしていくとともに、積極的に文化財の調査や研究を実施することで、貴重な文化財の保護事業を展開する。また、調査・研究等に関わる情報を、学習教材としてわかりやすく市民に公開し、市民とともに文化財を愛護し生かす。

その具体的施策として、説明板を設置し市民の学習資料として活用する。また文化財の基礎資料の調査・研究を進めるとともに、各種文化財等の情報をウェブサイト「信州須坂のおたから」を通じて積極的に公開していく。

(2) 主要事業

ア 市誌編さん事業

市誌発刊に向け、専門家を配置すると共に、史料収集及び整理、目録化を進める。収集した古文書等の史料は、須坂の歴史を研究する上において大変重要な史料であり、劣化が激しいものや、未整理のものもあるため、よりよい保存と活用の施策を講じる。

イ 県天然記念物高山蝶保護事業

破風高原、峰の原高原に生息する「ベニヒカゲ」「ミヤマモンキチョウ」の違法捕獲防止パトロールを実施するとともに、市民へのPR活動として自然保護観察会を開催する。

指定文化財一覧

平成29年3月31日現在 ※所有者は指定当時

番号	名称等	所在地	※所有者	指定年月日
----	-----	-----	------	-------

◆国指定文化財 2件

名勝				
1	米子瀑布群	大字米子 1422-1 ほか	米子町 ほか	平成 28 年 10 月 3 日
特別天然記念物				
1	カモシカ (偶蹄目：ウシの仲間)	市内山間地		昭和 30 年 2 月 15 日

◆県指定文化財 6件

無形民俗文化財				
1	野辺の来迎念仏 (念仏踊り)	大字野辺 (野辺町)	野辺来迎念仏 保存会	平成 9 年 8 月 14 日
史 跡				
2	八丁鎧塚 (積石塚古墳)	大字八町字鎧塚 287, 285 (上八町)	上八町、須坂 市	昭和 40 年 2 月 25 日
3	井上氏城跡 (中世城館跡)	大字井上 2474 ほか	一色利雄 ほ	昭和 40 年 2 月 25 日

		(井上町) (館跡)	か	
		大字井上 3269 ほか		
		(井上町) (山城)		
天然記念物				
4	ミヤマモンキチョウ (高山蝶)	峰の原高原		昭和 50 年 2 月 24 日
5	ベニヒカゲ (高山蝶)	破風高原・峰の原高原		昭和 50 年 2 月 24 日
6	井上の枕状溶岩 (自然現象)	大字井上 3274 十九ヶ塙 (井上町)	峯村勝徳	平成 4 年 2 月 20 日

◆市指定文化財 88 件

有形文化財				
1	勝善寺文書 (中世古文書)	大字須坂 122 (本上町) 勝善寺	同 左	昭和 45 年 5 月 25 日
2	八丁鎧塚出土品 (考古資料)	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	須坂市	昭和 45 年 5 月 25 日
3	人物埴輪 (考古資料)	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	霧原大元神社	昭和 45 年 5 月 25 日
16	郷倉 (建造物)	大字仁礼 1084-1 (仁礼町) 湯河原	(財) 仁礼会	昭和 50 年 4 月 1 日
17	時の鐘の「鐘楼」(建造物)	大字須坂 756 (常盤町)	須坂市	昭和 50 年 4 月 1 日
20	須坂園芸高校出土の 弥生式土器(考古資料)	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	須坂園芸高校	昭和 55 年 9 月 20 日
21	木造聖徳太子立像 (彫刻)	大字小山 353 (南原町) 普願寺	同 左	昭和 59 年 6 月 1 日
22	木造不動明王立像 (彫刻)	大字米子 1057 (米子町) 不動寺	同 左	昭和 59 年 6 月 1 日
23	木造百万塔 (工芸品)	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	須坂市	昭和 61 年 10 月 17 日
32	天神一号墳出土品 (考古資料)	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	須坂市	平成元年 10 月 1 日
33	須坂吉向焼 (工芸品)	大字小山 476 ほか (穀町) 田中本家博物館 ほか	同 左 ほか	平成元年 10 月 1 日 追加名称変更 平成 24 年 3 月 30 日
34	木造秋葉三尺坊 大権現神像 (彫刻)	大字日滝 629 (本郷町) 蓮生寺	同 左	平成元年 10 月 1 日
35	蓮生寺絵馬 (美術)	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	蓮生寺	平成元年 10 月 1 日
36	福島の大幟 (書)	大字福島 191 (福島町) 福島天神社	同 左	平成元年 10 月 1 日
37	銅製鰐口 (金工品)	大字井上 2579 (井上町) 小坂神社	同 左	平成元年 10 月 1 日
38	臥竜山百番観音 (石造物)	臥竜 3 丁目 ほか (臥竜山)	興国寺	平成元年 10 月 1 日
42	普願寺本堂と鐘楼 (建造物)	大字小山 353 (南原町) 普願寺	同 左	平成 4 年 1 月 4 日
43	著色天井絵大鷲図 (美術)	大字沼目 494-2 (沼目町) 沼目薬師堂	沼目町	平成 4 年 1 月 4 日

44	木造薬師如来座像（彫刻）	大字沼目 494-2 （沼目町）沼目薬師堂	沼目町	平成 4 年 1 月 4 日
45	ステンドグラス（工芸品）	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	須坂市	平成 4 年 1 月 4 日
46	庚申塔（石造物）	大字福島 175（福島町）西福寺	同 左	平成 4 年 1 月 4 日
47	滝山不動寺奥の院 （建造物）	大字米子 1421（米子町）奥の院	滝山不動寺	平成 4 年 1 月 4 日
50	旧園里学校（建造物）	大字豊丘 1076（豊丘上町）新田	須坂市	平成 5 年 4 月 1 日
52	丸山家文書（近世古文書）	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	須坂市	平成 6 年 1 月 4 日
53	円光寺太鼓堂（建造物）	大字小山 360（南原町）円光寺	同 左	平成 6 年 9 月 1 日
58	元牧新七家（建造物）	大字須坂 371-6 東横町（クラシック美術館）	須坂市	平成 7 年 1 月 4 日
59	絹本著色釈迦三尊像 （絵画）	大字井上 2618（井上町）浄運寺	同 左	平成 8 年 1 月 4 日
60	本郷大塚古墳出土品 （考古資料）	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	（社）日滝史 蹟保存会	平成 8 年 1 月 4 日
62	奇妙山石仏群と千体仏	大字米子 86・チほか （米子町）（石仏群） 大字亀倉 424（亀倉町）（千体仏）	長野営林署、 万竜寺	平成 9 年 5 月 1 日
64	大日如来道標（石造物）	大字豊丘 3279-3（豊丘上町）	豊丘水利組合	平成 12 年 4 月 1 日
67	太子堂と聖徳太子絵伝 （建造物・絵）	大字須坂 900-2（太子町）	須坂市、太子 町	平成 19 年 12 月 6 日
72	浄運寺本堂（建造物）	大字井上 2618（井上町）	浄運寺	平成 22 年 3 月 9 日
73	東照寺本堂の欄間	大字米子 463（米子町）	東照寺	平成 22 年 3 月 9 日
74	爰譜	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	同左	平成 23 年 3 月 31 日
82	出山釈迦如来立像（彫刻）	大字井上 2618（井上町）	浄運寺	平成 24 年 2 月 29 日
83	浄運寺の六角堂（建造物）	大字井上 2618（井上町）	浄運寺	平成 24 年 2 月 29 日
84	旧牧家（建造物）	大字野辺 1386-8 須坂市歴史的建物園	須坂市	平成 24 年 2 月 29 日
85	元板倉家（建造物）	大字野辺 1386-8 須坂市歴史的建物園	須坂市	平成 24 年 2 月 29 日
86	長屋門（建造物）	大字野辺 1386-8 須坂市歴史的建物園	須坂市	平成 24 年 2 月 29 日
87	武家長屋（建造物）	大字野辺 1386-8 須坂市歴史的建物園	須坂市	平成 24 年 2 月 29 日
88	鰻絵「牛乃乳」	大字須坂 812-2（常盤町） 須坂市旧上高井郡役所	須坂市	平成 24 年 2 月 29 日
89	中澤吉四郎家文書 （近代文書）	大字須坂 812-2（常盤町） 須坂市旧上高井郡役所	須坂市	平成 24 年 2 月 29 日
93	旧小田切家住宅（建造物）	大字須坂 423-1（春木町）	須坂市	平成 25 年 12 月 12 日

94	上杉景勝書状 (近世古文書)	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	須坂市	平成 27 年 11 月 25 日
有形民俗文化財				
51	笠鉾・屋台 (祭事用具)	大字須坂 410-1 (横町) 笠鉾会館	穀町ほか 12 町	平成 5 年 1 月 4 日
無形民俗文化財				
18	獅子狂言「梅川」(獅子舞)	大字村山 (村山町)	村山神楽保存会	昭和 50 年 4 月 1 日
39	高梨の牛獅子 (獅子舞)	大字高梨 (高梨町)	高梨太々神楽保存会	平成元年 10 月 1 日
48	上八町の赤熊	大字八町 (上八町)	上八町郷土芸能保存会	平成 4 年 1 月 4 日
66	下八町太々神楽 (獅子舞)	大字八町 (下八町)	下八町太々神楽保存会	平成 19 年 3 月 13 日
史 跡				
4	井上氏史跡 (中世遺跡)	大字井上 2916-ロほか (井上町) (井上氏墳墓)	井上町 ほか	昭和 45 年 5 月 25 日
		大字井上 3135-1 ほか (井上町) (竹ノ城跡)		
5	福島宿道標 (街道遺跡)	大字福島 22-2 (福島町)	福島町	昭和 45 年 5 月 25 日
6	須田古城跡 (中世山城)	臥竜 3 丁目 ほか (臥竜山)	興国寺 ほか	昭和 45 年 5 月 25 日
7	吉向焼窯跡 (近世古窯跡)	大字坂田 683-2 ほか (穀町) 大和合	田中太郎	昭和 45 年 5 月 25 日
8	東行社跡 (近代産業遺跡)	大字須坂 785-1 ほか (穀町)	北水社	昭和 45 年 5 月 25 日
9	俊明社跡 (近代産業遺跡)	大字須坂 1101-2 ほか (馬場町)	須坂市 ほか	昭和 45 年 5 月 25 日
12	大岩城跡 (中世山城)	大字日滝 5153 ほか (本郷町) 天狗岩	中村幸保 ほか	昭和 47 年 3 月 1 日
13	石小屋洞穴 (洞穴遺跡)	大字仁礼 3164-7 (仁礼町) 仁礼山	井上町 ほか 3 町	昭和 47 年 3 月 1 日
24	天神 1 号墳 (古墳)	大字米持 775-1 ほか (米持町)	須坂市	昭和 61 年 10 月 17 日
61	本郷大塚古墳 (古墳)	大字日滝 751 (本郷町)	(社) 日滝史蹟保存会	平成 8 年 1 月 4 日
63	奇妙山遺跡 (信仰遺跡)	大字米子 国有林 86 ほか (米子町) 米子山	長野営林署	平成 9 年 5 月 1 日
65	旧大笹街道峠道 (街道遺跡)	大字仁礼仁礼山・峰の原	(財) 仁礼会	平成 12 年 4 月 1 日
92	須坂基線西端点 (1 等三角点)	大字小河原 2269-1 (小河原町) 別府山道南沖	国土交通省国土地理院	平成 25 年 3 月 21 日
名 勝				

10	臥竜山（丘陵）	臥竜3丁目 ほか（臥竜山）	興国寺 ほか	昭和45年5月25日
天然記念物				
15	延命地藏堂の桜（樹木）	大字豊丘 1078-2 （豊丘上町）新田	須坂市	昭和47年3月1日
19	ミヤマツチトリモチ （植物）	大字豊丘字乳山		昭和50年4月1日
25	熊野神社のエノキ（樹木）	大字塩川 536（塩川町）熊野神社	塩川町	昭和61年10月17日
26	別府のオニグルミ（樹木）	大字小河原 2433 （小河原町）田子宅	田子賢	昭和61年10月17日
28	仙仁山のハルニレ（樹木）	大字仁礼（仁礼町）山ノ神	（財）仁礼会	昭和61年10月17日
29	万竜寺のクマスギ（樹木）	大字亀倉 424（亀倉町）万竜寺	同 左	昭和61年10月17日
30	墨坂神社社叢（樹林）	墨坂 1-8-1 ほか 墨坂神社	同 左	昭和61年10月17日
31	小坂神社社叢（樹林）	大字井上 2578 ほか （井上町）小坂神社	同 左	昭和61年10月17日
40	臥竜山根あがりねじれ松 （樹木）	臥竜3丁目 ほか 臥竜山	興国寺	平成元年10月1日
49	臥竜梅（樹木）	臥竜 3-3-1 興国寺	同 左	平成4年1月4日
54	大広院のカヤノキ（樹木）	大字八町 2258（下八町）大広院	同 左	平成6年9月1日
56	野辺のオオムラサキ （樹木）	大字野辺 760（野辺町）丸山宅	丸山邦安	平成6年9月1日
57	広正寺のエドヒガン （樹木）	大字野辺 669（野辺町）広正寺	同 左	平成6年9月1日
69	大日向観音堂しだれ桜 （樹木）	大字豊丘上台 230（大日向町）	大日向町	平成19年12月6日
70	長妙寺の桜（樹木）	大字豊丘字内山 2787（豊丘町）	長妙寺	平成21年3月12日
71	弁天さんのしだれ桜 （樹木）	大字豊丘中灰野梅ノ木地区 （豊丘上町）梅ノ木	豊丘上町	平成21年3月12日
75	東照寺の桜（樹木）	大字米子 464（米子町）東照寺	同 左	平成23年3月31日
76	萬龍寺の桜（樹木）	大字亀倉 424（亀倉町）萬龍寺	同 左	平成23年3月31日
77	金毘羅山の桜（樹木）	大 字 亀 倉 427-イ、886-ロ （亀倉町）	同 左	平成23年3月31日
78	亀倉神社の桜（樹木）	大字亀倉字本郷 412 （亀倉町）亀倉神社	亀倉神社（亀倉町）	平成23年3月31日
79	高顕寺の桜（樹木）	大字仁礼字大狭 873-ハ 876-イ （仁礼町）高顕寺	同 左	平成23年3月31日
80	大広院の桜（樹木）	大字八町 2260-2 （下八町）大広院	同 左	平成23年3月31日
81	洞入観音堂のイチョウ （樹木）	大字豊丘字洞入 2638-1 （豊丘町）洞入観音堂	同 左	平成23年3月31日

90	豊丘の穴水（自然現象）	大字豊丘 3321-22	須坂市豊丘財産区	平成 24 年 2 月 29 日
91	西五味池のモミの木 （樹木）	大字豊丘 3321-1	須坂市豊丘財産区	平成 24 年 2 月 29 日
◆登録有形文化財 7 件				
	旧越家住宅	大字須坂 435-2 ほか（春木町）	須坂市	平成 15 年 9 月 19 日
	ふれあい館しらふじ （旧丸田医院）	大字須坂 32-1（本上町）	須坂市	平成 15 年 9 月 19 日
	ふれあい館まゆぐら （旧田尻製糸）	大字須坂 387-2（東横町）	須坂市	平成 15 年 9 月 19 日
	田中本家博物館	大字小山 476 ほか（穀町）	（財）田中本家博物館	平成 15 年 9 月 19 日
	塩屋醸造	大字須坂 537（新町）	上原家	平成 19 年 5 月 15 日
	須高農業協同組合井上支所	大字井上幸高 4 4 7 - 2	須高農業協同組合	平成 27 年 11 月 17 日
	中野家住宅	大字須坂 4 2 0	中野家	平成 28 年 2 月 25 日

4 図 書 館

位 置

須坂市大字須坂803番地 1

沿 革

大正12年 8 月	設立決議、創立具体的計画（皇太子殿下御成婚記念事業）
大正15年 3 月	須坂町青年会により須坂小学校の一室に開館
昭和14年 4 月	町に移管し、旧町役場の一室に移転。名称 町立須坂図書館
昭和15年11月	篤志により基本図書の寄贈をうけ、内容の充実を図る。
昭和23年11月	創立25周年、町立10周年を記念して第2次基本図書の充実を図る。
昭和25年 6 月	分類をNDC（日本十進分類法）に変更
昭和27年 6 月	自由開架式に改める。
昭和30年 3 月	読書会指導者養成研修会と読書会普及運動を起こす。
昭和30年 6 月	各支所へ配本所を設置する。4ヵ所
昭和31年 7 月	史談会を発会、読書会連絡会を毎月開催
昭和32年 9 月	読書会大会開催
昭和33年12月	婦人会へ配本実施、市内各支部単位に毎月1回。
昭和40年10月	市庁舎新築により、旧庁舎（分室を改築）あとへ移転し内容の充実を図る。
昭和43年 7 月	須高母親文庫に須坂市の小学校PTAが加入する。6校（45年9校、46年10校）
昭和44年 2 月	高甫図書館を吸収する。
昭和45年10月	須坂市で第20回長野県図書館大会開催
昭和48年 4 月	図書配本車を購入し、配本業務を開始する。配本所26ヵ所（小学校、保育園、公会堂等）

昭和53年 4 月	10歳未満の入館制限を廃止する。
昭和55年 8 月	改築工事着工、翌年 2 月竣工。
昭和56年 4 月	新館へ移転開館（4 月 5 日）
6 月	読み聞かせ、紙芝居会開始
12月	お茶の間折紙会発足
昭和58年 8 月	声のライブラリー開設により、視聴覚コーナーの充実を図る。
昭和60年 4 月	母親文庫に市内中学校全員加入
昭和62年 6 月	2 階へ冷房装置設置
6 月	録音室改造工事完了
昭和63年10月	第38回長野県図書館大会開催
平成元年 7 月	信濃毎日新聞のマイクロフィルム購入開始 マイクロリーダープリンター購入
平成 4 年 7 月	1 階へ冷房装置設置
平成 6 年 3 月	屋根修繕（塗装）工事
平成 6 年 7 月	図書配本車を更新する。
平成 8 年 9 月	外壁整備工事
平成 9 年 7 月	閉架書庫空調機・除湿機設置工事
平成10年 3 月	便所タイル修繕工事
平成10年 7 月	前庭整備工事（身障者用スロープ付け替え）
平成13年 3 月	図書電算化稼働
5 月	インターネットによる予約申込み開始
平成14年 9 月	男子便所タイル修繕工事
平成15年 3 月	玄関自動ドア修繕
平成17年 4 月	すざかびとのコーナー開設
平成18年 4 月	平日の開館時間 1 時間延長実施
平成19年 4 月	祝日開館実施
7 月	利用者カード変更、図書館システム更新
平成20年 8 月	駐輪場増設
平成21年 7 月	冷暖房設備改修工事
平成22年 5 月	旧ボイラー室改修工事（新聞庫を移設） 第 2 書庫開設（旧新聞庫）
平成24年 3 月	配本用図書電算化完了
7 月	図書館システム更新
平成25年 1 月	信濃毎日新聞データベース導入
平成25年 7 月	図書配本車を更新
平成25年11月	信州須坂どこでも図書館開始
平成27年 3 月	信州須坂どこでも図書館マップ及び看板を作成 須坂市 P T A 文庫解散
4 月	信州須坂 P T A ブッククラブ設置

平成27年11月 トイレ改修工事
 平成28年 7 月 図書館エントランス修繕工事
 平成29年 3 月 駐車場修繕工事

施設の概要

敷地面積 1,122㎡ 延床面積 1,088.00㎡
 主要施設 読書室 1 (閲覧席45) 美術室 1 郷土資料室 1 新聞庫 1 書庫 1
 講習室 1 事務室 1 配本室 1 図書整理室 1 録音室 1

目 標

市民の教養、知識の糧として、また、誰もが気軽に活用できる図書館。多様な市民の多様なニーズに応えられるよう、職員も見識を高め、市民とともに育つ図書館。講座やイベントを通して、市民がつながる拠点となるよう、重点目標を掲げて図書館奉仕に努めている。

重点目標

- (1)資料の充実と環境の整備を図る。
- (2)郷土資料の収集・保管に努め、調査・研究に応える。
- (3)地域公民館や学校と連携し、読書環境の支援に努める。
- (4)障がい者へのサービス向上を図る。
- (5)ボランティアを育成し、市民の自主的な読書活動を支援する。

蔵書の状況

本館用図書冊数

28年度末現在 (単位：冊)

分 類	27年度末	購 入	寄 贈	計	除 籍	総 冊 数
一般図書	86,820	2,268	98	89,186	1,608	87,578
小 説	11,219	710	10	11,939	24	11,915
参 考 図 書	5,157	77	5	5,239	226	5,013
郷 土 資 料	6,113	19	55	6,187	4	6,183
一 般 小 計	109,309	3,074	168	112,551	1,862	110,689
児童図書	30,071	892	20	30,983	448	30,535
絵 本	15,484	535	27	16,046	149	15,897
紙 芝 居	1,601	82	0	1,683	2	1,681
児 童 小 計	47,156	1,509	47	48,712	599	48,113
雑 誌	5,075	1,071	38	6,184	1,076	5,108
ビデオテープ	258	0	0	258	0	258
C D	1,739	92	1	1,832	23	1,809
テープ図書	398	0	0	398	0	398
D V D	1,548	197	9	1,754	0	1,754
行政資料	1,607	0	24	1,631	0	1,631
本 館 計	167,090	5,943	287	173,320	3,560	169,760

配本所用図書冊数

単位：冊

区 分	27年度末	購 入	寄 贈	計	除 籍	総冊数
配 本 所 用	29,130	1,135	2	30,267	373	29,894

本館・配本所図書総冊数

単位：冊

区 分	27年度末	購 入	寄 贈	計	除 籍	総冊数
図書総冊数	196,220	7,078	289	203,587	3,933	199,654

図書館登録者数（28年度新規）

区 分	本 館（人）	地域館等（人）	PTAブッククラブ （人）	計（人）	団 体（団体）
登録総数	867	1,234	27	2,128	6

図書館の利用状況

図書貸出状況

（単位：冊）

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	個 人	20,200	20,078	18,965	19,264	22,677	20,468	21,113	20,615	20,042	19,474	20,042	22,289	245,827
	団 体	520	602	579	416	264	504	558	559	594	433	436	408	5,873
配本所	地域館等	971	1,227	1,579	1,282	821	1,200	1,137	1,338	899	734	929	511	12,628
	PTA ブッククラブ	5	0	3	0	0	0	0	4	0	0	0	0	12
計		21,202	21,696	21,907	21,126	20,962	23,762	22,172	22,808	22,516	21,535	20,641	22,007	23,208

音訳奉仕活動

音訳ボランティア「須坂あかりの会」の協力により作成した音訳CDを、視覚障害者や読書の困難な方々に利用していただいている。

図書館利用状況の推移

年 度	年度末蔵書数 （冊）	登 録 者 総 数		貸 出 数 （冊）	市民一人当たり	
		団体（団体）	個人（人）		貸出冊数（冊）	蔵書冊数（冊）
23	179,285	240	20,900	281,088	5.35	3.41
24	184,203	241	21,757	290,539	5.56	3.53
25	188,698	242	22,399	287,103	5.48	3.60
26	192,659	247	22,909	271,000	5.21	3.70
27	196,220	253	23,414	266,323	5.15	3.79
28	200,730	265	24,414	264,340	5.13	3.90

5 博 物 館

位 置

須坂市臥竜二丁目4番1号

沿 革

昭和35年 市内の文化財収集はじまる。
昭和41年 国庫補助を受けて、臥竜公園内に新築開館(総工費9,500,000円)。
昭和45年 登録博物館となる。(2月20日付)
第1回きこ展はじまる。
昭和51年 堅穴式住居・勝善寺鬼瓦を館外に展示する。
昭和54年 新館増築(総工費22,394,000円)
昭和60年 考古展示室改装。
昭和61年 須坂藩詰所一部を館外に展示する。考古室一部改装、本郷大塚古墳遺物全部展示
昭和62年 考古室内冷房設置、養蚕・製糸室展示改装
昭和63年 須坂藩関係室展示改装
平成7年 1階展示室及び玄関改修
平成15年 考古室内冷房更新
平成16年 館内トイレ修繕、ステンドグラス保護工事
平成22年 金属資料展示ケース空調設備修繕
平成24年 ふれあい館「まゆぐら」2階に須坂市立博物館「まゆぐら分館」開館
博物館収蔵品デジタルアーカイブ事業はじまる。

施 設

敷地面積	1,195㎡	構造	旧館 簡易耐火ブロック積長尺鉄板葺一部3階建 新館 鉄骨造2階建
延床面積	742.4㎡		
主要施設	須坂藩関係資料室、養蚕・製糸関係資料室、企画展示室、考古資料室、特別展示室、図書室、収蔵庫、事務室、物置、土器収蔵庫、整理作業室		

所蔵資料

美術資料	4,367点	考古資料	1,160点	民俗資料	671点	歴史資料	359点
教育資料外	752点						

目 標

生涯学習の場として、わかりやすい展示、十分な資料の提供を行うとともに、児童・生徒には学習等の補助を行う。また市内に散在する文化財の調査・研究・保護・展示を行い、郷土の歴史・文化に対する関心を高める。

事 業

- 常設展の資料を充実し、特別展・講演会・講座を開催し、学習活動をきめ細かく支援する。
- 収蔵環境を整備する。

最近の事業

年度	特 別 展 示 活 動	博 物 館 講 座
26	市制施行 60 周年記念特集展示「市民が築いた博物館－寄贈資料が語る須坂のあゆみ－」 特別展「能楽と^{おもて}面－悠久の能文化・伝統を後世へ－」 館外企画展示「第 45 回須坂きのこ展」 新春特別企画「須坂藩主 新年の書き初め展」 北陸新幹線長野～金沢間開業前記念展示「吉原澄悦 切り絵『信濃の街道』」 特集展示「今よみがえる江戸の桜^{じやく} 叢譜と須坂藩ゆかりのお雛様、印籠・根付」	臥竜山たんけん「臥竜公園ウォークラリー」他 全 10 回 現地学習「歩いて見よう！天然記念物の桜ガイドツアー」 歴史講座 講演会『関ヶ原の戦いの裏舞台－黒田官兵衛と長政－』 特集展 関連企画 蓄音機音楽会&思い出トーク「須坂小唄 ああの頃の響き」 特集展 夏休み特別ワークショップ「粉からうどんを作ってみよう！」 第 3 回臥竜公園フェスティバル内企画「懐かしの街頭紙芝居 in 臥竜公園」「思い出トーク 塩崎源一郎さんと私」 特別展 講座「能面のお話と実演」 特別展 講座「子どものための能楽講座」 特別展 関連企画「謡曲・北信流に関する講演会&仕舞上演」 特別展 関連企画「酒宴席開催と中締め北信流体験会」 企画展 講演会『きのこ中毒の発生及び野生きのこの鑑別上の注意』 館外講座「高甫を知ろう」 館外講座「こども発掘たんけん教室」 館外講座「八丁鎧塚まつり特別ガイド養成講座」 展示資料活用事業「第 5 回八丁鎧塚まつり」 共催講座「歴史文化講座」全 4 回 特集展 関連企画『叢譜』をのこした若き藩主のドラマ 紙芝居『須坂のとのさま物語』三部作口演 全 2 回 特集展 解説「掌上の芸術 根付～匠の技を大解剖!!」
27	須坂藩開藩 400 年・吉向焼須坂開窯 170 年記念特別展「吉向焼展 ふるさとに息づく江戸期の雅陶～吉向行阿の置きみやげ～」 館外企画展示「第 46 回須坂きのこ展」 開館 50 周年記念特集展「春を愛でる雛と桜 ～須坂藩ゆかりの雛道具と桜図譜『^{じやくふ}叢譜』～」	臥竜山たんけん「臥竜公園ウォークラリー」他 全 9 回 現地学習「すざか桜ガイドツアー」 叢譜の杜桜まつり内企画「叢譜の杜と叢譜」講演会・「直虎と堀家ゆかりの館巡りガイドツアー」・「昔懐かしの街頭紙芝居の口演」 第 4 回臥竜公園フェスティバル内企画「我竜神スザカイザーと博物館たんけん」 特別展 関連企画「講演会&窯跡見学会」 特別展 関連企画「石州流交流茶会」 特別展 関連企画「石州流お茶席」 特別展 展示解説「ギャラリートーク」 館外企画展示 講演会『きのこ中毒の防止について』・『毒きのこについて』 館外講座「高甫を知ろう」

		館外講座「八丁鎧塚まつり古墳ガイドポイント講座」 展示資料活用事業「第6回八丁鎧塚まつり」 共催講座「歴史文化講座」全5回 特集展 関連企画 紙芝居口演「須坂のとのさま物語」 全2回 特集展 関連企画「春をうたう邦楽コンサート」 特集展 展示解説「ギャラリートーク」
28	NHK大河ドラマ関連企画スポット展示「上杉景勝書状」 開館50周年記念特集展「印籠・根付～ニッポンが世界に誇るものづくりのルーツ～」 館外企画展示「第47回須坂きのこ展」 堀直虎没後150年祭プレ事業・開館50周年記念特別展「北村方義～堀直虎の側近として活躍した偉大な須坂藩士の足跡～」 堀直虎没後150年記念事業特集展「花は盛りに～直虎 桜図譜『叢譜』と須坂藩主ゆかりの雛道具」	臥竜山たんけん「臥竜公園ウォークラリー」他 全7回 文化財保存活用倉庫蔵開き（大型製糸機械等公開） 現地学習「須坂市指定天然記念物の桜ガイドツアー」 叢譜の杜桜まつり内企画「昔懐かしの街頭紙芝居の口演」 特集展 関連企画「根付スポット解説」 特集展 展示解説「ギャラリートーク」 館外企画展示 学習会「きのこ現地学習会」 館外企画展示 講演会『きのこ中毒の防止について』『野生きのこについて』 館外講座「八丁鎧塚ガイドポイント講座」 展示資料活用事業「第7回八丁鎧塚まつり」 特別展 講演会『北村方義の生きた時代と須坂藩』 特別展 講演会『亀田流の書と北村方義』 特別展 展示解説「ギャラリートーク」 共催講座「歴史文化講座」全6回 特集展 関連企画「春をうたう邦楽コンサート」 特集展 関連企画 紙芝居口演「須坂のとのさま物語 堀直虎」 特集展 展示解説「ギャラリートーク」

6 学校体育施設開放使用状況

（平成28年度延べ使用日数・回数）

学校名	体 育 館			運 動 場		
	①開放日数	②使用日数	③使用率 ②/① (%)	①開放日数	②使用日数	③使用率 ②/① (%)
須坂小	306	291	95.1	245	181	73.9
小山小	321	300	93.5			
森上小	338	306	90.5	186	80	43.0
日滝小	305	293	96.1	274	123	44.9
豊洲小	306	208	68.0	255	80	31.4
日野小	352	321	91.2	275	104	37.8

井上小	330	232	70.3	269	78	29.0
高甫小	316	257	81.3	259	72	27.8
旭ヶ丘小	331	240	72.5	268	85	31.7
仁礼小	319	269	84.3	246	21	8.5
豊丘小	273	124	45.4	272	40	14.7
常盤中	340 (339)	250 (109)	73.5 (32.2)	274	132	48.2
相森中	338 (340)	331 (279)	97.9 (82.1)	271	18	6.6
墨坂中	341 (248)	284 (203)	83.3 (81.9)	267	25	9.4
東 中	336 (334)	254 (304)	75.6 (91.0)	268	0	0.0
合 計	4,852 (1,261)	3,960 (895)	81.6 (71.0)	3,629	1,039	28.6

※中学校の（ ）は、武道場の使用状況

Ⅶ 人権同和教育課

1 人権教育推進計画（抜粋）

第1 はじめに

人権教育についての国際的な取組が進んでいます。国連は、「人権教育のための国連10年」(1995～2004年)を実施し、日本においても国内行動計画が作成され、その取組が行われてきました。さらに、国連総会で全世界規模での人権教育の推進を徹底させるための「人権教育のための世界計画」(2004年～)が定められました。人権という普遍的な文化を構築するための人権教育の推進は、国際社会が協力して取り組むべき基本的課題となっています。

国内においては、平成12(2000)年に「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」が公布され、国や地方公共団体の責務が明示されました。この法律に基づき、人権教育・啓発を総合的かつ計画的に推進するため、平成14(2002)年に「人権教育・啓発に関する基本計画」が閣議決定されました。

文部科学省は、学校教育における人権教育推進のために、平成15(2003)年に「人権教育・啓発に関する基本計画」に基づく調査研究組織として「人権教育の指導方法等に関する調査研究会議」を設置し、第一次から第三次にわたる[とりまとめ]を公表しました。

須坂市においては、同和教育を学校教育・社会教育の中に位置付けて推進してきましたが、平成12(2000)年に「部落差別撤廃・人権擁護に関する総合計画」を、平成13(2001)年には国際的な動向を受けて「人権教育のための国連10年須坂市行動計画」を策定し、それまでの同和教育の取組をふまえた人権教育の推進を目指しました。

平成26(2014)年3月には、「須坂市部落差別をはじめあらゆる差別撤廃・人権擁護審議会答申」(平成25年)を受け、「部落差別撤廃・人権擁護に関する総合計画」「人権教育のための国連10年須坂市行動計画」に替わるものとして、「須坂市人権政策推進基本方針」を策定し、市が進める人権政策の基本的な考え方や方向性を示しました。

平成28(2016)年3月には、須坂市教育委員会では、「人権教育・啓発に関する基本計画」、「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」及び「須坂市人権政策推進基本方針」の基本的方向をふまえ、長野県教育委員会の人権教育推進プランを基盤に「須坂市人権教育推進計画」の見直しを行いました。

今後、この推進計画に沿って、須坂市の人権教育を進めてまいります。

第2 人権教育・啓発の方針

同和教育や啓発活動の中で積み上げられてきた成果とこれまでの手法への評価をふまえ、すべての人の基本的人権を尊重していくための人権教育・啓発として、発展的に再構築を図っていきます。

1 学校における人権教育

一人ひとりの児童生徒が発達段階に応じて、人権尊重に関する知識や理解を深め、互いに人権を尊重する心、自分の大切さとともに他の人の大切さを認める「共に生きる心」を育てます。

幼稚園・保育園・認定こども園、小・中・支援学校、高等学校と連携し、一貫した人権教育を進め、児童生徒がいきいきと学べる学校、学級づくりを進めます。

教職員が豊かな人権感覚を持ち、人権尊重の理念に基づいた人権教育が実践できるよう指導力を高める取組を進めます。

2 社会における人権教育・啓発

多様な人権課題について正しい理解と認識のもとに、具体的な行動や実践につながるよう、人権教育研修の機会と内容の充実に取り組みます。

区(自治会)、公民分館、人権教育推進員、人権擁護委員、人権のまちづくり推進会議、企業人権教育推進会議等と連携し、効果的に教育・啓発が行われるよう情報提供を行います。

地域や企業で共に活動する人権教育リーダーの育成と資質の向上を図る研修会を実施します。

(1) 家庭・地域

保護者が、子どもの人権感覚の育成に果たす役割の重要性を認識し、自らの人権感覚を高め、家庭教育の充実を図るよう支援します。

区や公民分館が行う町別人権問題学習会への講師派遣や情報・資料提供等の支援を行います。

地域における人権教育リーダーの育成のため、各地域との情報交換・共有の提供に努めます。

(2) 企業・職場

商工関係団体や経営者等に対し、企業内における人権教育の推進や人権教育指導者の育成を要請し、企業の主体的な取組を支援します。

企業経営者等に対し、就職希望者の基本的人権を尊重した公正な採用選考と、就職の機会均等が図られるよう、関係機関と連携して啓発を行います。

第3 人権教育の基本方針

人権について、国の「人権教育・啓発に関する基本計画」は、「人間の尊厳に基づいて各人が持っている固有の権利であり、社会を構成するすべての人々が個人としての生存と自由を確保し、社会において幸福な生活を営むために欠かすことのできない権利」と示し、人権が尊重される社会を築いていく主体となる人間を育てるために、次の3つの方針で人権教育を進めています。

- 1 人権尊重の意義及び様々な人権問題についての**理解と認識**を深めます。
- 2 自らの権利の行使に伴う責任を自覚して、互いに人権を尊重し合う「**共に生きる心**」を醸成します。
- 3 人権問題を自らの課題として解決し、人権を尊重する社会を築いていく**意欲と実践力**を高めます。

この3点は、文部科学省「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」における学校人権教育の目標と目指すものは同じといえます。

2 沿 革

昭和33年 7月1日	須坂市部落解放審議会条例を公布施行し、部落解放審議会及び部落解放推進協議会発足。この頃公民館の重点事業に同和教育が組みこまれ、小中学校でも自発的に取り組まれるようになった。
昭和36年	公民館が冊子「部落についての50の質問」を発行
昭和41年度 ～昭和43年度	同和対策モデル地区事業が取り入れられ、同和対策事業が計画的に実施される基礎となった。
昭和44年 5月	同和教育主事を公民館に配置

昭和45年	「須坂市同和対策事業長期計画」、昭和49年2月に「須坂市同和対策事業基本方針」及び「同和対策事業後期5ヵ年計画」、同年5月1日に「須坂市同和教育基本方針」を制定
昭和47年4月	「同和対策室」、昭和49年4月「同和教育係」が新設され、昭和49年10月それぞれ「同和対策課」「同和教育課」として発足
昭和49年5月	二睦解放子ども会発足
昭和49年8月	企業同和教育推進会議発足
昭和50年3月	「同和教育委員会」を設置 「須高小中学校同和教育指導計画（試案）」作成
昭和50年5月	本郷解放子ども会発足
昭和52年3月	「社会同和教育の手びき」作成
昭和52年4月	福島解放子ども会発足
昭和53年3月	冊子「れいめいー須坂市民のための同和教育ー」を発行、全戸配布
昭和54年3月	「れいめい」資料編作成
昭和56年12月	『須坂市を中心とした「資料による部落の歴史」（近世編）』作成
昭和57年4月	須坂市同和教育基本方針の一部改正
昭和58年1月	「同和教育指導計画（改訂版）」作成
昭和62年4月	須坂市同和教育基本方針を一部改正
平成4年4月	須坂市同和教育基本方針を一部改正
平成6年3月	「須坂市部落解放・人権尊重都市」宣言
平成8年1月	須坂市部落差別をはじめあらゆる差別撤廃・人権擁護に関する条例を公布 施行須坂市部落解放審議会条例を廃止
平成8年4月	須坂市同和教育基本方針を一部改正
平成9年3月	「同和問題に関する市民意識調査報告書」作成 同和教育委員会を廃止
平成9年4月	須坂市同和教育基本方針を一部改正
平成10年9月	同和教育推進指導員12名委嘱
平成11年6月	企業同和教育推進会議「企業が進める同和教育」発刊
平成11年9月	同和教育推進指導員5名委嘱（全17名に）
平成12年2月	「部落差別撤廃・人権擁護に関する総合計画」策定
平成13年2月	「人権教育のための国連10年須坂市行動計画」策定
平成13年4月	「同和教育課」を「人権同和教育課」に 「同和教育係」を「人権同和教育係」に 「同和対策課」を「人権同和政策課」に 「同和対策係」を「人権同和政策係」に名称変更 「同和教育推進指導員」を「人権同和教育推進指導員」に名称変更
平成13年6月	「部落解放推進委員会」を「人権のまちづくり推進委員会」に名称変更
平成14年3月	「人権同和教育指導計画」を改訂 解放子ども会同和教育推進教員配置廃止

平成14年 4 月	二睦・福島解放子ども会合同で開催 解放子ども会支援加配教員配置。 子ども会運営を保護者会で
平成14年 5 月	「企業同和教育推進会議」を「企業人権同和教育推進会議」に名称変更
平成15年 4 月	「解放子ども会」支援加配教員配置廃止
平成18年 4 月	「人権のまちづくり推進委員会」を「人権のまちづくり推進会議」に名称変更
平成19年 1 月	部落解放同盟須坂市協議会と共催し、「第 1 回人権を考える市民のつどい」を開催
平成20年4月	二睦・福島解放子ども会休会
平成21年4月	須坂市人権同和教育基本方針を一部改正
平成23年3月	「人権同和教育指導計画」を改訂
平成26年3月	「部落差別撤廃・人権擁護に関する総合計画」、「人権教育のための国連10年 須坂市行動計画」に替わるものとして、「人権政策推進基本方針」を策定
平成26年4月	「人権同和教育推進指導員」を「人権教育推進員」に名称変更 須坂市人権教育基本方針を一部改正
平成26年5月	「企業人権同和教育推進会議」を「企業人権教育推進会議」に名称変更
平成28年3月	「須坂市人権教育基本方針」を廃止し、「須坂市人権教育推進計画」を策定

3 具体的事業

人権教育総務

事業名	事業の内容	実施時期
部落差別をはじめ あらゆる差別撤廃・ 人権擁護審議会	人権教育の基本的事項について調査及び審議する。 委員15人	年間 (随時)
人権教育連絡会	人権教育担当者の連絡調整を図るため開催する。	年間 (随時)
人権教育強調月間	標語・ポスターの募集と活用 ・募集 小・中学生に標語・ポスターを、一般に標語を募集 ・展示 部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集 会、人権を考える市民のつどいで展示 ・啓発用ポスター・標語短冊の作成	11月15日～ 12月14日

学校人権教育

事業名	事業の内容	実施時期
学校教職員の 人権教育研修	人権尊重を基本にし、児童・生徒の発達段階に即して一貫 した人権教育を進めるため、研修会等を開催する。 ・校長との懇談会 ・学校人権教育主任会 ・須坂市への新任教職員人権教育研修会	6 月 5 月・10 月 8 月

企 業 人 権 教 育 推 進 会 議 の 活 動 支 援	企業人権教育推進会議の活動を支援し、企業内での人権教育の推進を図る。	年間
人 権 教 育 啓 発 資 料 の 発 行	人間を大切にする明るい社会の実現をめざして、啓発資料を全市民対象に発行する。	1 月

4 都市宣言

須坂市部落解放・人権尊重都市宣言

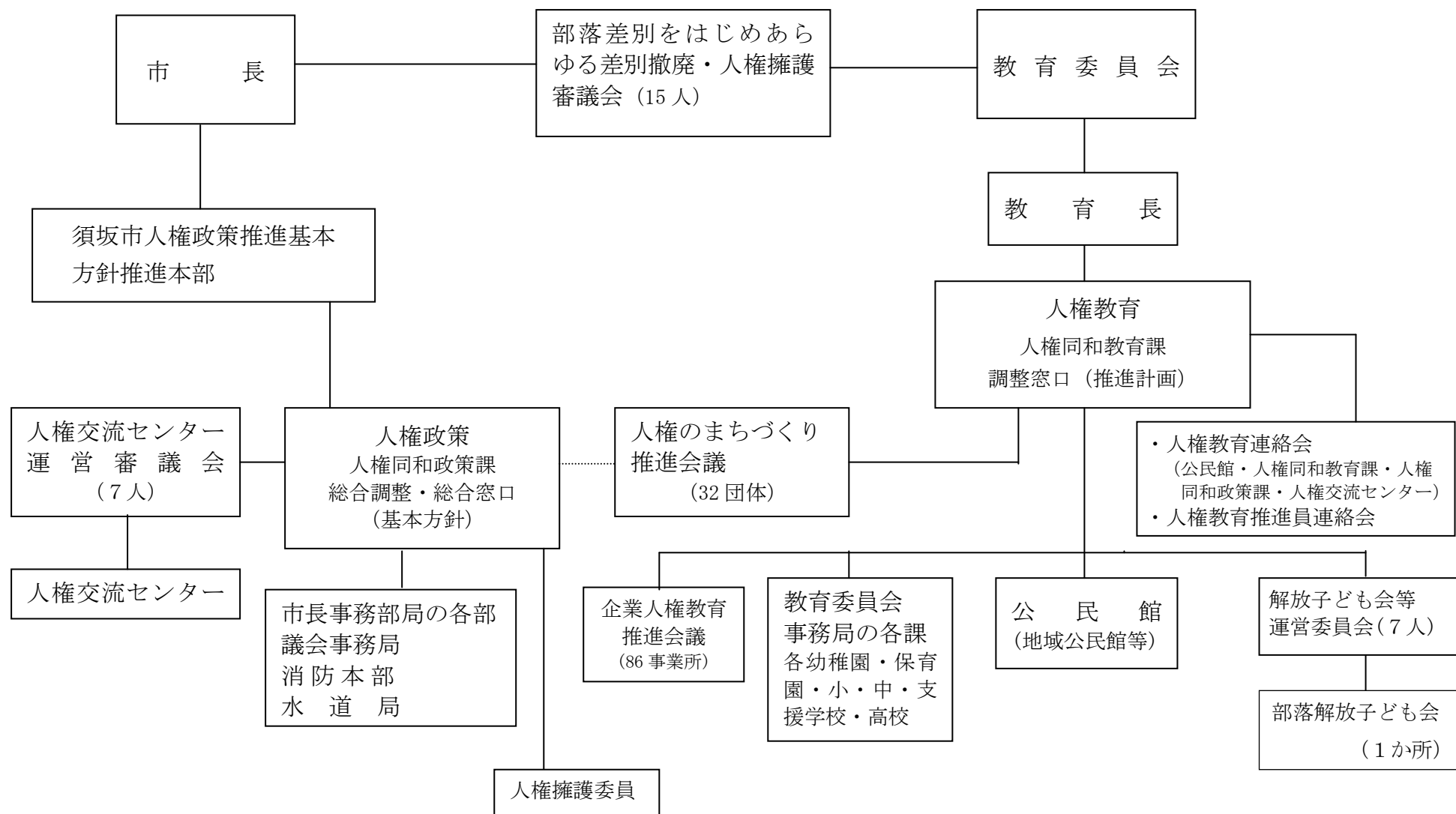
(平成6年3月22日)
宣 言

基本的人権が尊重され、自由で平等な社会の実現は、すべての人々の強い願いである。

しかしながら現実の社会生活においては、今なお、部落差別をはじめさまざまな差別が存在している。人権が侵害されることは、いかなる理由があっても許されることではない。

よって、市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権を守り、差別のない明るく住みよい社会を築くため、ここに須坂市を「部落解放・人権尊重都市」とすることを宣言する。

5 須坂市人権行政機構図



VIII 歴代教育委員名簿

1 歴代教育委員

(1) 旧法による委員

年	委員長	副委員長	委 員	委 員	議会選出委員	教育長
27	11・1就 広田 豊治	11・1就 永井 正雄	11・1就 二ノ宮 一雄	11・1就 牧 武雄	11・1就 中島 義昭	11・1就 清水 虎治郎
28	〃 2・10退	〃 2・10退	〃 2・10退	〃 2・10退	〃 2・10退	〃
29	2・16就 永井 正雄	2・16就 二ノ宮 一雄	2・16就 広田 豊治	2・16就 松倉 専右エ門	3・16就 東山 真一 2・10退	〃
30	〃 9・30退	〃 9・30退	〃 9・30退	〃 9・30退	2・16就 大瀬 今太郎 9・30退	〃 9・30退
31	新法へ移行	新法へ移行	新法へ移行	新法へ移行	新法へ移行	新法へ移行
30・1・1以降 31・9・30まで 上記のほかに井上委員会選出委員 堀内 正 高甫委員会選出委員 松沢 令之助						

(2) 新法による委員

31	10・1就 広田 豊治	10・1就 松沢 令之助	10・1就 羽生田 薫	10・1就 神林 新治	10・1就 清水 虎治郎
32			9・30満了 10・1再任 羽生田 薫		5・7退 5・8就 山岸 吉治
33	1・31退 3・21就 青木 幹三 9・30満了 10・1就 秋田 実				
34		9・30満了 10・1再任 松沢 令之助	1・22退 3・16就 永戸 朋納		
35				9・30満了 10・1就 稻田 猶治	9・30満了
36	6・4退 12・19就 牧 茂助		9・30満了 10・1再任 永戸 朋納		4・1就 竹前 友治郎
37	9・30満了 10・1再任 牧 茂助			4・12退 6・20就 原 伊四郎	
38		1・15退 10・1就 丸田 倭文雄			
39				9・30満了 10・1就 城本 重男	

40			<u>9・30満了</u> 10・2再任 永戸 朋納		<u>3・31満了</u> 4・19就 永田 保
41	<u>9・30満了</u> 10・1再任 牧 茂助				
42		<u>9・30満了</u> 10・1再任 丸田 倭文雄			<u>1・16退</u> 3・17就 藤沢 晋一
43				<u>9・30満了</u> 10・1再任 城本 重男	
44			<u>10・1満了</u> 10・2就 森山 貞治		<u>4・18満了</u> 6・21就 大久保 寿一
45	<u>9・30満了</u> 10・1就 北村 功次				
46		<u>9・30満了</u> 10・1就 林 秀皓			
47				<u>9・30満了</u> 10・1就 青木 功	
48	<u>5・11退</u> 6・11就 北村 善三郎		<u>10・1満了</u>		<u>6・20満了</u> 6・21再任 大久保 寿一
49	<u>9・2退</u> 10・1就 花園 文治		4・1就 宮崎 裕司		
50		<u>9・30満了</u> 10・1就 市川 さくの			
51			<u>2・13退</u> 4・2就 北村 堯	<u>9・30満了</u> 10・1再任 青木 功	<u>1・23退</u> 6・11就 竹重 正生
52					<u>6・20満了</u> 6・21再任 竹重 正生
53	<u>9・30満了</u> 10・1再任 花園 文治		<u>3・31満了</u> 4・1再任 北村 堯		
54		<u>9・30満了</u> 10・1就 関 幸五郎			
55				<u>9・30満了</u> 10・1就 二ノ宮 信子	
56		<u>8・25退</u> 10・1就 青木 信夫			<u>6・20満了</u> 6・21再任 竹重 正生
57	<u>9・30満了</u> 10・1就 小坂 保司		<u>3・31満了</u> 4・1再任 北村 堯		
58		<u>9・30満了</u> 10・1再任 青木 信夫			

59				<u>9・30満了</u> 10・1就 広瀬 紀子	
60					<u>6・20満了</u> 6・21就 板倉 信一郎
61	<u>9・30満了</u> 10・1再任 小坂 保司		<u>3・31満了</u> 4・1就 岡部 義男		
62		<u>9・30満了</u> 10・1就 北村 俊男			
63				<u>9・30満了</u> 10・1就 町田 弘子	
元					<u>6・20満了</u> 6・21就 小林 英之
2	<u>9・30満了</u> 10・1就 上原 衛		<u>3・31満了</u> 4・1就 竹前 稀市		
3		<u>9・30満了</u> 10・1再任 北村 俊男			
4				<u>9・30満了</u> 10・1就 黒岩 照子	
5					<u>6・20満了</u> 6・21就 野口 徹男
6	<u>9・30満了</u> 10・1再任 上原 衛		<u>3・31満了</u> 4・1再任 竹前 稀市		
7		<u>9・30満了</u> 10・1就任 坂口 光男			
8				<u>9・30満了</u> 10・1就任 宮下 瑠美子	
9	<u>3・31退</u> 4・1就 中島 將之				<u>6・20満了</u> 6・21就 大久保 俊弘
10	<u>9・30満了</u> 10・1再任 中島 將之		<u>3・31満了</u> 4・1就任 宮本 経祥		
11		<u>9・30満了</u> 10・1就任 坂口 光男			
12				<u>9・30満了</u> 10・1就任 宮下 瑠美子	
13		<u>3・31退</u> 4・1就任 田川 榮			<u>6・20満了</u> 6・21再任 大久保 俊弘
14	<u>9・30満了</u> 10・1就任 西澤 一好		<u>3・31満了</u> 4・1再任 宮本 経祥	<u>9・30退</u> 10・1就任 川野 美知子	

15		<u>9・30満了</u> 10・1就任 田川 榮			
16				<u>9・30満了</u> 10・1再任 川野 美知子	
17					<u>6・20満了</u> 6・21就任 永井 和男
18	<u>9・30満了</u> 10・1再任 西澤 一好		<u>3・31満了</u> 4・1就任 渡邊 宣裕		
19		<u>9・30満了</u> 10・1就任 清水 美奈子			
20				<u>9・30満了</u> 10・1就任 湯本 由美	
21					<u>6・20満了</u> 6・21再任 永井 和男
22	<u>9・30満了</u> 10・1就任 業田 昭映		<u>3・31満了</u> 4・1再任 渡邊 宣裕		
23		<u>9・30満了</u> 10・1再任 清水 美奈子			
24				<u>9・30満了</u> 10・1就任 神戸 要子	
25					<u>6・20満了</u> 6・21再任 内藤 靖
26	<u>9・30満了</u> 10・1就任 岡部 昭弘		<u>3・31満了</u> 4・1就任 小林 雅彦		
27		<u>9・30満了</u> 10・1就任 丸山 浩恵			

2 歴代委員長・職務代理・教育長

(1) 旧法による

年	委員長	副委員長	教育長
27	11・1就 広田 豊治	11・1就 永井 正雄	11・1就 清水 虎治郎
28	広田 豊治	永井 正雄	清水 虎治郎
29	2・10退 広田 豊治 3・31就 永井 正雄	2・10退 永井 正雄 3・31就 二ノ宮 一雄	清水 虎治郎
30	3・8退 永井 正雄 3・12就 二ノ宮 一雄	3・8退 二ノ宮 一雄 3・12就 松倉 専右エ門	清水 虎治郎
31	9・30退 二ノ宮 一雄	9・30退 松倉 専右エ門	9・30退 清水 虎治郎

(2) 新法による

年	委 員 長	委員長職務代理	教 育 長
31	10・1就 広 田 豊 治	10・1就 松 沢 令之助	10・1就 清 水 虎 治郎
32	広 田 豊 治	松 沢 令之助	5・7退 清 水 虎 治郎 5・8就 山 岸 吉 治
33	1・31退 広 田 豊 治 3・27就 松 沢 令之助	3・27退 松 沢 令之助 3・27就 神 林 新 治	山 岸 吉 治
34	松 沢 令之助	神 林 新 治	山 岸 吉 治
35	松 沢 令之助	9・30退 神 林 新 治 10・1就 永 戸 朋 納	9・30退 山 岸 吉 治
36	松 沢 令之助	永 戸 朋 納	4・1就 竹 前 友 治郎
37	松 沢 令之助	永 戸 朋 納	竹 前 友 治郎
38	1・15退 松 沢 令之助 7・9就 永 戸 朋 納	7・8退 永 戸 朋 納 7・9就 牧 茂 助	竹 前 友 治郎
39	永 戸 朋 納	牧 茂 助	竹 前 友 治郎
40	永 戸 朋 納	牧 茂 助	3・31退 竹 前 友 治郎 4・1就 城 本 重 男
41	永 戸 朋 納	牧 茂 助	城 本 重 男
42	永 戸 朋 納	牧 茂 助	城 本 重 男
43	永 戸 朋 納	牧 茂 助	城 本 重 男
44	9・30退 永 戸 朋 納 10・1就 牧 茂 助	9・30退 牧 茂 助 10・1就 丸 田 倭文雄	城 本 重 男
45	9・30退 牧 茂 助 10・1就 丸 田 倭文雄	9・30退 丸 田 倭文雄 10・1就 大 久 保 寿一	城 本 重 男
46	9・30退 丸 田 倭文雄 10・1就 大 久 保 寿一	9・30退 大 久 保 寿一 10・1就 森 山 貞 治	城 本 重 男
47	大 久 保 寿一	・ 退 森 山 貞 治 8・2就 北 村 功 次	8・1退 城 本 重 男 8・2就 森 山 貞 治
48	大 久 保 寿一	5・11退 北 村 功 次 6・25就 林 秀 皓	10・2退 森 山 貞 治
49	大 久 保 寿一	林 秀 皓	4・2就 宮 崎 裕 司
50	大 久 保 寿一	9・30退 林 秀 皓 10・6就 青 木 功	宮 崎 裕 司
51	1・23退 大 久 保 寿一 4・1就 青 木 功	3・31退 青 木 功 4・1就 花 園 文 治	2・13退 宮 崎 裕 司 4・2就 北 村 堯
52	青 木 功	花 園 文 治	北 村 堯
53	青 木 功	花 園 文 治	北 村 堯
54	青 木 功	花 園 文 治	北 村 堯
55	9・30退 青 木 功 10・1就 花 園 文 治	9・30退 花 園 文 治 10・1就 竹 重 正 生	北 村 堯

56		花 園 文 治		竹 重 正 生		北 村 堯
57	9・30退 10・1就	花 園 文 治 竹 重 正 生	9・30退 10・1就	竹 重 正 生 青 木 信 夫		北 村 堯
58		竹 重 正 生		青 木 信 夫		北 村 堯
59		竹 重 正 生		青 木 信 夫		北 村 堯
60	6・20退 6・25就	竹 重 正 生 青 木 信 夫	6・20退 6・25就	青 木 信 夫 小 坂 保 司		北 村 堯
61		青 木 信 夫		小 坂 保 司	3・31退 4・2就	北 村 堯 岡 部 義 男
62	9・30退 10・1就	青 木 信 夫 小 坂 保 司	9・30退 10・1就	小 坂 保 司 板 倉 信 一 郎		岡 部 義 男
63		小 坂 保 司		板 倉 信 一 郎		岡 部 義 男
元		小 坂 保 司	6・20退 6・21就	板 倉 信 一 郎 小 林 英 之		岡 部 義 男
2	9・30退 10・1就	小 坂 保 司 小 林 英 之	9・30退 10・1就	小 林 英 之 北 村 俊 男	3・31退 4・2就	岡 部 義 男 竹 前 稀 市
3		小 林 英 之		北 村 俊 男		竹 前 稀 市
4		小 林 英 之		北 村 俊 男		竹 前 稀 市
5	6・20退 6・22就	小 林 英 之 北 村 俊 男	6・22退 6・22就	北 村 俊 男 上 原 衛		竹 前 稀 市
6		北 村 俊 男		上 原 衛	4・1再任	竹 前 稀 市
7	9・30退 10・3就	北 村 俊 男 上 原 衛	10・3退 10・3就	上 原 衛 黒 岩 照 子		竹 前 稀 市
8		上 原 衛	9・30退 10・1就	黒 岩 照 子 野 口 徹 男		竹 前 稀 市
9	3・31退 4・1就 6・20退 6・25就	上 原 衛 野 口 徹 男 野 口 徹 男 坂 口 光 男	3・31退 4・1就 6・25退 6・25就	野 口 徹 男 坂 口 光 男 坂 口 光 男 宮 下 瑠 美 子		竹 前 稀 市
10		坂 口 光 男		宮 下 瑠 美 子	3・31退 4・1就	竹 前 稀 市 宮 本 経 祥
11		坂 口 光 男		宮 下 瑠 美 子		宮 本 経 祥
12		坂 口 光 男	9・30退 10・1就	宮 下 瑠 美 子 中 島 將 之		宮 本 経 祥
13	3・31退 4・1就	坂 口 光 男 中 島 將 之	3・31退 4・1就	中 島 將 之 大 久 保 俊 弘		宮 本 経 祥

14	9・30退 10・1就	中 島 將 之 中 島 將 之 大 久 保 俊 弘	9・30退 10・1就	大 久 保 俊 弘 大 久 保 俊 弘 田 川 榮	4・1再任	宮 本 經 祥
15		大 久 保 俊 弘		田 川 榮		宮 本 經 祥
16		大 久 保 俊 弘		田 川 榮		宮 本 經 祥
17	6.20退 6.21就	大 久 保 俊 弘 田 川 榮	6.20退 6.21就	田 川 榮 西 澤 一 好		宮 本 經 祥
18		田 川 榮		西 澤 一 好	3・31退 4・1就	宮 本 經 祥 渡 邊 宣 裕
19	9・30退 10・1就	田 川 榮 西 澤 一 好	9・30退 10・1就	西 澤 一 好 川 野 美 知 子		渡 邊 宣 裕
20		西 澤 一 好	9・30退 10. 1就	川 野 美 知 子 永 井 和 男		渡 邊 宣 裕
21		西 澤 一 好		永 井 和 男		渡 邊 宣 裕
22	9・30退 10・1就	西 澤 一 好 永 井 和 男	9・30退 10・1就	永 井 和 男 清 水 美 奈 子	4・1再任	渡 邊 宣 裕
23		永 井 和 男		清 水 美 奈 子		渡 邊 宣 裕
24		永 井 和 男		清 水 美 奈 子		渡 邊 宣 裕
25	6・20退 6・21就	永 井 和 夫 内 藤 靖		清 水 美 奈 子		渡 邊 宣 裕
26		内 藤 靖		清 水 美 奈 子	3・31退 4・1就	渡 邊 宣 裕 小 林 雅 彦
27		内 藤 靖	9・30退 10・1就	清 水 美 奈 子 神 戸 要 子		小 林 雅 彦
28		内 藤 靖		神 戸 要 子		小 林 雅 彦

平成28年度

須坂市の教育

編集 須坂市教育委員会
